



インタラクティブ・フラット・ パネル

ユーザーマニュアル

法的情報

本書について

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下の写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに含まれる情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本ドキュメントの最新版は、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本製品に関するサポートの訓練を受けた専門家の指導と支援のもと、本ドキュメントをご利用ください。

本製品について

- 本製品のアフターサービスは、ご購入いただいた国または地域でのみご利用いただけます。
- お選びいただいた製品が映像製品の場合は、以下のQRコードをスキャンして「映像製品の利用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権に関する承認

- Hikvisionは、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関する著作権および／または特許権を保有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、画像、グラフィックなどを含むいかなる部分も、Hikvisionに帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を問わず、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他のHikvision の商標およびロゴは、各管轄区域においてHikvisionの所有物です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。



「HDMI」、「HDMI High-Definition Multimedia Interface」、HDMIトレードドレス、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。Hikvisionは、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的ないかなる保証も行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。いかなる場合においても、Hikvisionは、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の紛失による損害を含みますが、これらに限定されません。これらは、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくものであるか否かを問わず、本製品の使用に関連して生じたものであっても、Hikvisionがそのような損害

または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて、Hikvisionは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援する活動。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾がある場合は、後者が優先する。

© Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. All rights reserved.

はじめに

対象機種

本マニュアルは、インタラクティブフラットパネルに適用されます。

記号の説明

本書に記載されている記号は、以下のように定義されています。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ、死亡または重傷につながる可能性のある、リスクの高い危険を示します。

本マニュアルに記載されているすべての製品は、Product Security Redline V4 に基づいて開発されています。

目次

第 1 章 はじめに	1
第2章 操作および保守上の注意事項	2
2.1 電源ケーブルの使用	2
2.2 清掃およびメンテナンス.....	3
第3章 接続と設置	4
3.1 設置上の注意事項.....	4
3.2 外観とインターフェース.....	4
3.2.1 前面パネルとインターフェース	4
3.2.2 パーソナルコンピュータ（PC）への接続.....	6
3.3 コンピュータへの内蔵	8
3.4 取り付け	9
第4章 起動とシャットダウン	12
4.1 デバイスの起動	12
4.1.1 コンピュータボックスなしで設置.....	12
4.1.2 コンピュータボックスを使用してのインストール	12
4.2 エコモード.....	12
4.3 シャットダウン	12
第5章 メニュー操作	14
5.1 基本操作	14
5.2 システムバー	15
5.3 入カソース.....	16
5.4 ネットワーク.....	16
5.5 コントロールメニュー	16
5.5.1 注釈	18
5.5.2 スクリーンショット	20
5.5.3 投票機	20
5.5.4 ランダム選択.....	22
5.6 カメラ機能.....	24
5.6.1 カメラ.....	24
5.6.2 動画	24
5.6.3 設定	25
第6章 システム設定	26
6.1 ネットワーク設定	26
6.1.1 有線ネットワーク設定.....	26
6.1.2 無線ネットワーク設定	27
6.1.3 WLANホットスポット設定	28
6.2 ディスプレイ設定	29
6.3 オーディオ設定	30
6.4 言語と入力設定	31
6.5 日付と時刻の設定	31
6.6 アプリケーション管理	32
6.7 Bluetooth	32
6.8 補助機能	33
6.8.1 サイドバー.....	33

6.8.2 温度制御	33
6.8.3 物理ボタンの設定	34
6.9 詳細設定	35
6.10 ユーザー設定	37
6.11 デバイス情報	39
6.12 ネガティブ画面	39
第7章 インテリジェントアプリケーション	41
7.1 ファイルブラウザ	41
7.1.1 ローカルストレージ	41
7.1.2 クラウドストレージ	42
7.2 ブラウザ	43
7.3 ホワイトボード	43
7.3.1 ツールバーの基本操作	43
7.3.2 その他のツール	45
7.3.3 ホワイトボードの管理	52
7.3.4 ホワイトボードを保存	53
7.3.5 ホワイトボードを共有	53
7.3.6 その他の機能	54
7.4 WonderCastServer	56
7.5 WonderSeminar	57
7.5.1 放送および通話画面	58
7.5.2 グループ比較	60
7.5.3 権限制御	61
7.5.4 その他の操作	61
7.6 システムプリインストールアプリ	62
第8章 付録A よくある質問	64

第1章 はじめに

インタラクティブフラットパネル（以下、「本デバイス」といいます）は、コンピュータ、プロジェクター、インタラクティブホワイトボード、サウンドボックス、広告機などの機能を統合しています。本デバイスは、4Kディスプレイ、赤外線タッチ、ヒューマンマシンインタラクション、マルチメディア情報処理、ネットワーク伝送などの複数の技術を搭載しており、書き込み、注釈、マルチスクリーン共有、リモートビデオ通話（オプション）などのさまざまな機能をユーザーに提供します。

本デバイスは、オフィス、会議室、マルチメディア教室、展示ホールなどの場所で、遠隔ビデオによる双方向コミュニケーション、研修や指導、医療相談などのイベントに主に使用されます。

主な特長

- 最大 3840 × 2160 解像度の入力信号に対応した Ultra HD ディスプレイ。
- 20px の超微細な文字書き込みが可能で、直径 2 mm の文字も 1 mm の精度で認識します。
- USB 3.0 に対応しています。
- Wi-Fiを内蔵しており、ケーブル接続なしで画面ミラーリングが可能です。
- 内蔵のインタラクティブホワイトボードシステムにより、QRコードを使った注釈や共有が可能です。
- ループアウト表示が可能。
- デバイスへのアクセス用各種オーディオ・ビデオインターフェース。
- 内蔵のネットワークスイッチモジュールにより、ネットワークスイッチが不要になります。
- Androidシステムを内蔵しており、様々なアプリケーションを利用できます。
- OPS/OPS-Cデバイスに対応し、内蔵システム間のスムーズな切り替えを実現。
- アルミニウムプロファイルフレームを採用した超薄型デザイン。

第2章 操作とメンテナンス

注意事項

本装置の LCD パネルは、高精度技術によって製造されています。ただし、画面上に常に点灯している、あるいは全く点灯しない微細な点が見られる場合や、横から見たときに色や明るさにムラが生じることがあります。しかし、上記の現象は液晶ディスプレイではよくあることであり、故障ではありません。また、本製品の性能には影響しません。

- 本製品の操作中に第三者によって引き起こされた不具合、およびその他の故障や損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険を避けるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が付着する環境では本機器を使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や、強い光源の近くには本機を置かないでください。
- 火災や損傷の危険を避けるため、ほこりや高湿度、油や蒸気が付着する環境では本機器を使用しないでください。本機器を直射日光の当たる場所や、強い光源の近くには置かないでください。
- 本製品を雨や湿気の多い場所に置かないでください。
- 本製品を不安定な場所や危険な場所に置かないでください。強い衝撃や振動を避けてください。
- 火災の危険を避けるため、暖房器具の近くや高温の場所で本機を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ本機を移動させた後は、すぐに電源を入れず、結露が蒸発するまでお待ちください。
- 本製品に物を挿入しないでください。
- 本機のの上に重い物を置かないでください。
- 本機および付属品は、予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイは壊れやすいため、落下や衝撃に弱いです。取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグや操作中の不適切な操作は、本機の損傷の原因となる場合があります。
- 本体を硬い物で引っかいたり、叩いたりすることは固く禁じられています。損傷や故障のリスクを避けるため、操作中は本体の電源を頻繁にオン/オフしないでください。
- 本製品から煙、異臭、または異音がした場合は、直ちに電源を切り、電源コードを抜いてから、サービスセンターまでご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用について

- 電源ケーブルが破損または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地されており、筐体の銘板に記載されている要件に合致していることを確認してください。
- 本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨の際は、電源プラグとアンテナを取り外してください。

- 本機を長期間使用しない場合は、本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分間待ってから、本機をご使用ください。
- 本製品には、同梱の純正電源ケーブルのみをご使用ください。同仕様の電源ケーブルをご購入の際は、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が確実に接地されていることを確認してください。
- 電源プラグやコンセントに、ほごりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルを改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から遠ざけてください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- このケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他の機器には使用しないでください。

2.2 清掃およびメンテナンス

- 背面カバーの穴は放熱用です。背面カバーに液体をかけたりスプレーしたり、濡れた布で拭いたりしないでください。
- 清掃を行う前に、電源プラグを抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- 本体の清掃には、乾いた柔らかいほごりのない布を使用してください。
- 内部の清掃については、サービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階の故障を回避できます。
- デバイスを定期的に清掃し、新品同様の状態を保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、工業用化学薬品を使用して本機を清掃しないでください。異物が本機内部に入らないようにしてください。
- 本製品のメンテナンスについては、資格を持つサービス担当者に依頼してください。本製品が破損した場合は、弊社までご連絡ください。無断での修理は行わないでください。

第3章 接続と設置

3.1 設置上の注意事項

- 最高の性能を発揮させるため、設置前に本体の画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカーが提供する壁掛け金具またはスタンドのみを使用してください。
- 壁への取り付けは、専門スタッフにご依頼ください。
- 設置前に付属品を確認してください。不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。
- 本製品をきつく締めすぎないでください。そうしないと、画面が歪むおそれがあります。
- 本製品は耐荷重壁に取り付けてください。
- 本機は安定した場所に置か、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続を容易にするため、利用可能な AC 電源ソケットの近くに本機を設置してください。信号干渉を防ぐため、他の機器と同じアースケーブルを使用してください。
- 機械的な振動源の近くに本機を置かないでください。
- 本製品を、虫が容易に侵入できる環境に置かないでください。
- 結露を防ぐため、本機をエアコンの吹き出し口に直接向けしないでください。
- 電波干渉を防ぐため、本機を強い電磁界の中に置かないでください。

3.2 外観とインターフェース

3.2.1 Front Panel and Interfaces

インタラクティブフラットパネルのインターフェースは以下の通りです。



- デバイスのインターフェースは、機種によって異なります。
- 以下の説明は、画面に向かって見た場合のものとなります。

65 インチおよび 75 インチ

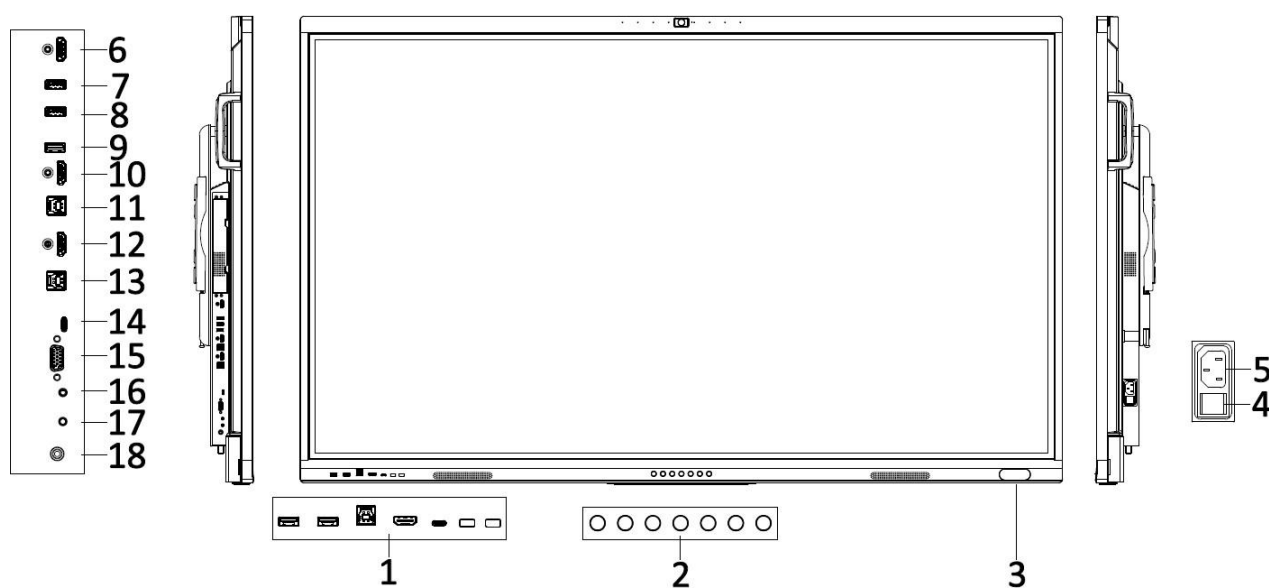


Figure 3-1 フロントパネルとインターフェース（65型および75型）

86インチ

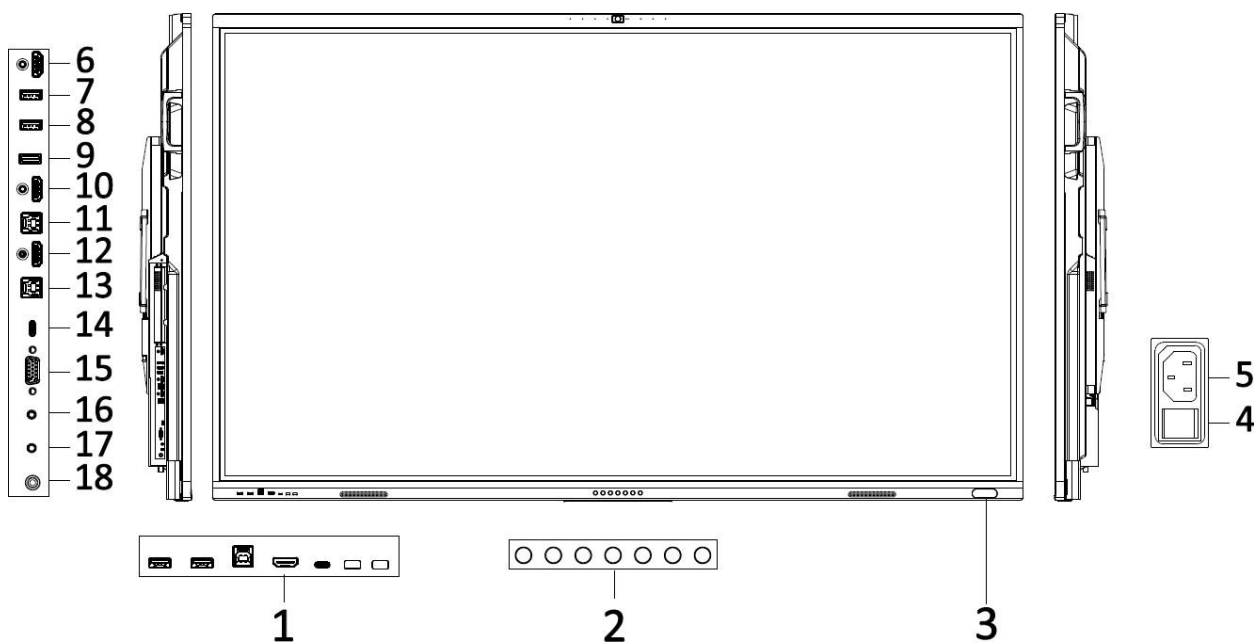


Figure 3-2 前面パネルとインターフェース（86インチ）

Table 3-1 パネルの説明

No.	説明	No.	説明
1 (左から 左から右 へ)	USB 3.0 USB 3.0 タッチ式 USB 3.0 HDMI Type-C光センサ - IR	2	電源キー 音量 - 音量 + Androidホストメニュー 戻る コントロールメ ニュー 物理ボタン（操作については 「6.8.3 物理ボタンの設定」を参照）
3	NFC	4	電源スイッチ
5	電源 AC 100 ~ 240 V	6	HDMI出力
7/8	多機能USBインターフェース	9	USBインターフェース
10	HDMI入力1	11	タッチUSB
12	HDMI入力2	13	タッチUSB 2
14	Type-C	15	VGA入力
16	ライン入力（オーディオ入力インターフェース）	17	ライン出力（オーディオ出力インターフェース）
18	SPDIF（デジタルオーディオ出力）	/	/

3.2.2 Connection to Personal Computer (PC)

PCと本機の接続は以下の通りです。



Caution

取り付けや分解を行う際は、必ず本機の電源を切ってください。

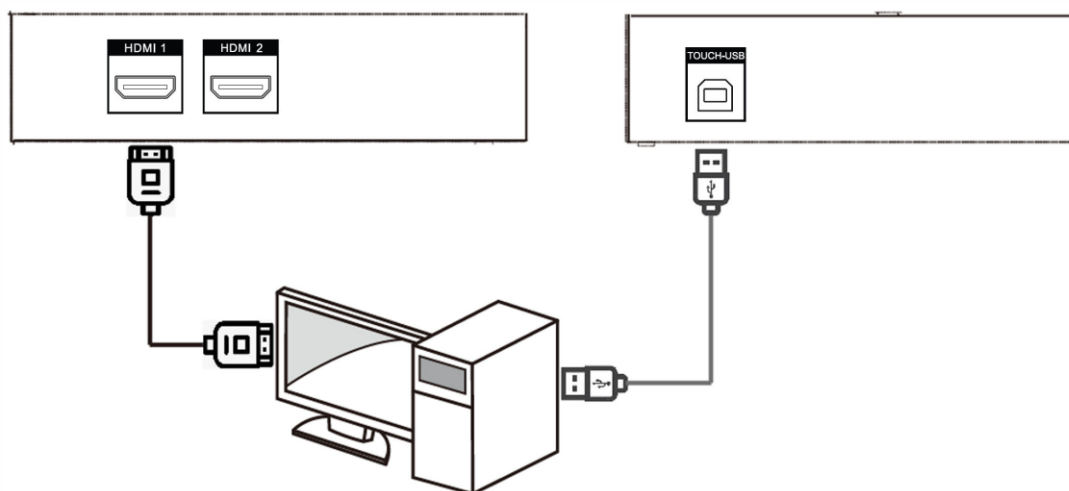


Figure 3-3 PCに接続

 Note

- Touch-USBインターフェースは、本デバイス上で外部PCをタッチ操作する必要がある場合にのみ必要です。
- HDMI信号を良好な品質で伝送するには、長さが10メートル未満の高品質な信号ケーブルをご使用ください。
- USBケーブルは製品に含まれておりません。Type-AコネクタからType-BコネクタへのUSBケーブルをご購入ください。

3.3 コンピュータ内部への取り付け

65型および75型

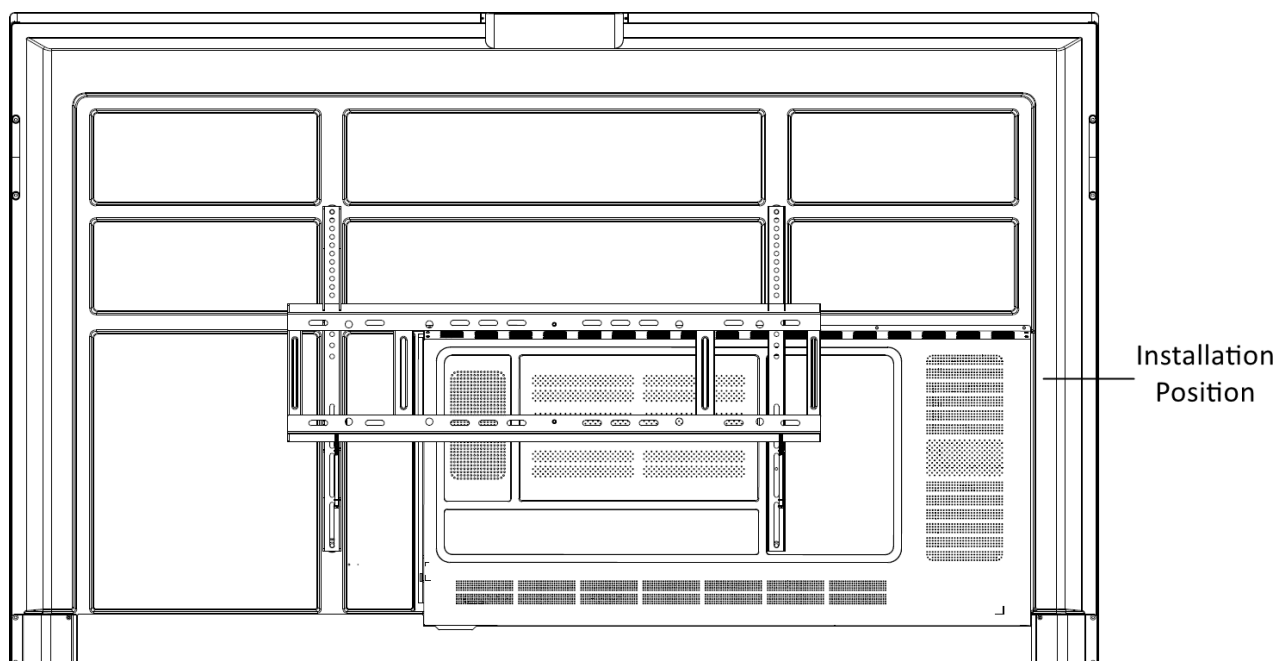


Figure 3-4 コンピュータ内蔵設置（65型および75型）

86インチ

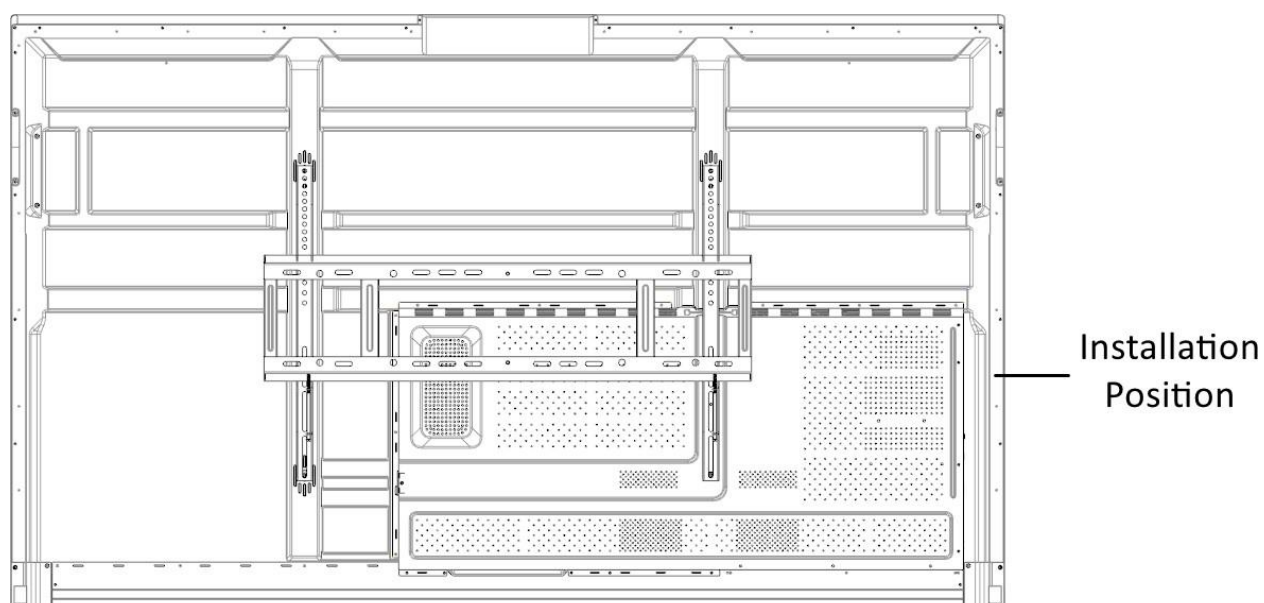


Figure 3-5 内蔵コンピュータ設置（86インチ）

コンピュータボックスは、本体の側面スロットに取り付けます。ボックスを取り付ける際は、図のように通気孔が背面パネルと同じ方向を向いていることを確認してください。ネジを締めて、ボックスを所定の位置に固定してください。



- このコンピュータはオプションの付属品です。
- 機器の損傷を防ぐため、コンピュータボックスは電源を切った後にのみ取り外すことができます。

3.4 取り付け

本製品は、下図のように壁掛け用マウントを取り付けて設置することができます。

- 65 インチおよび 75 インチ

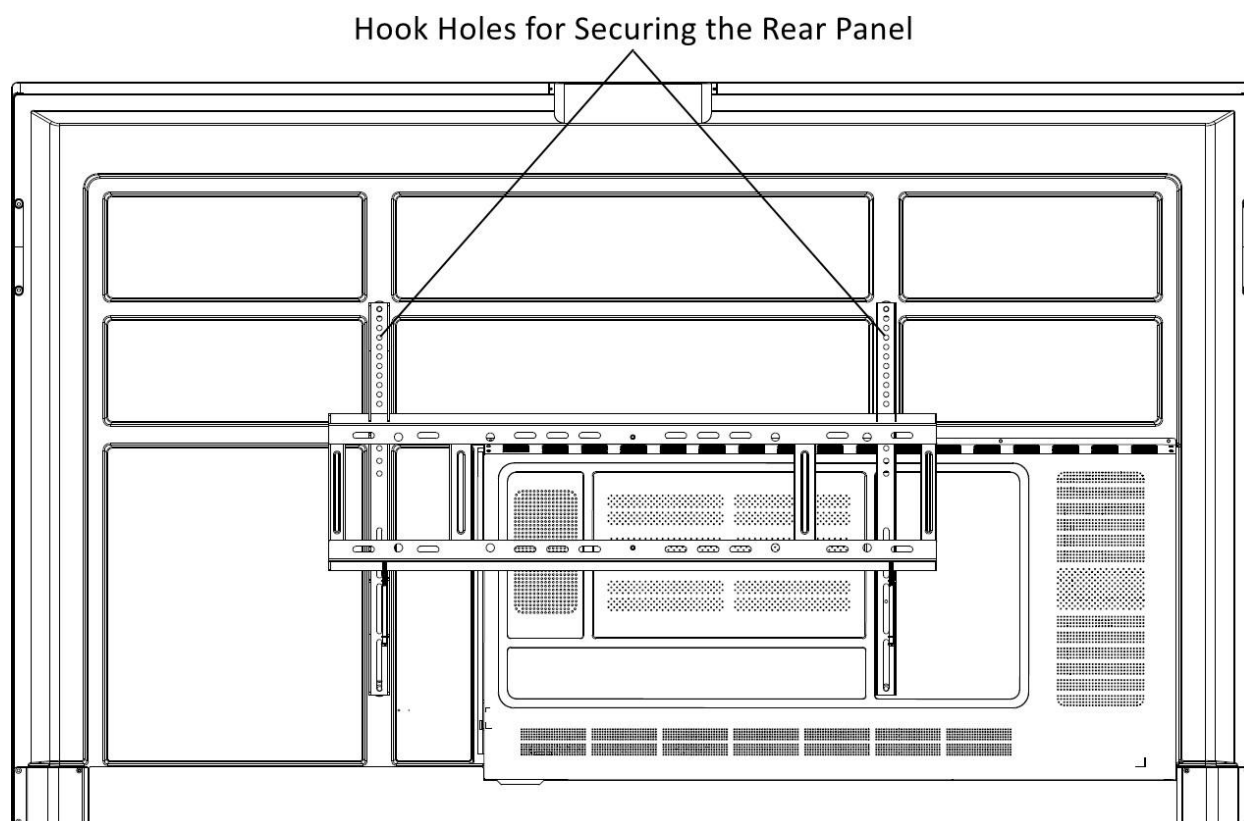


Figure 3-6 壁面取り付け（背面図）（65 インチおよび 75 インチ）

- 86インチ

Hook Holes for Securing the Rear Panel

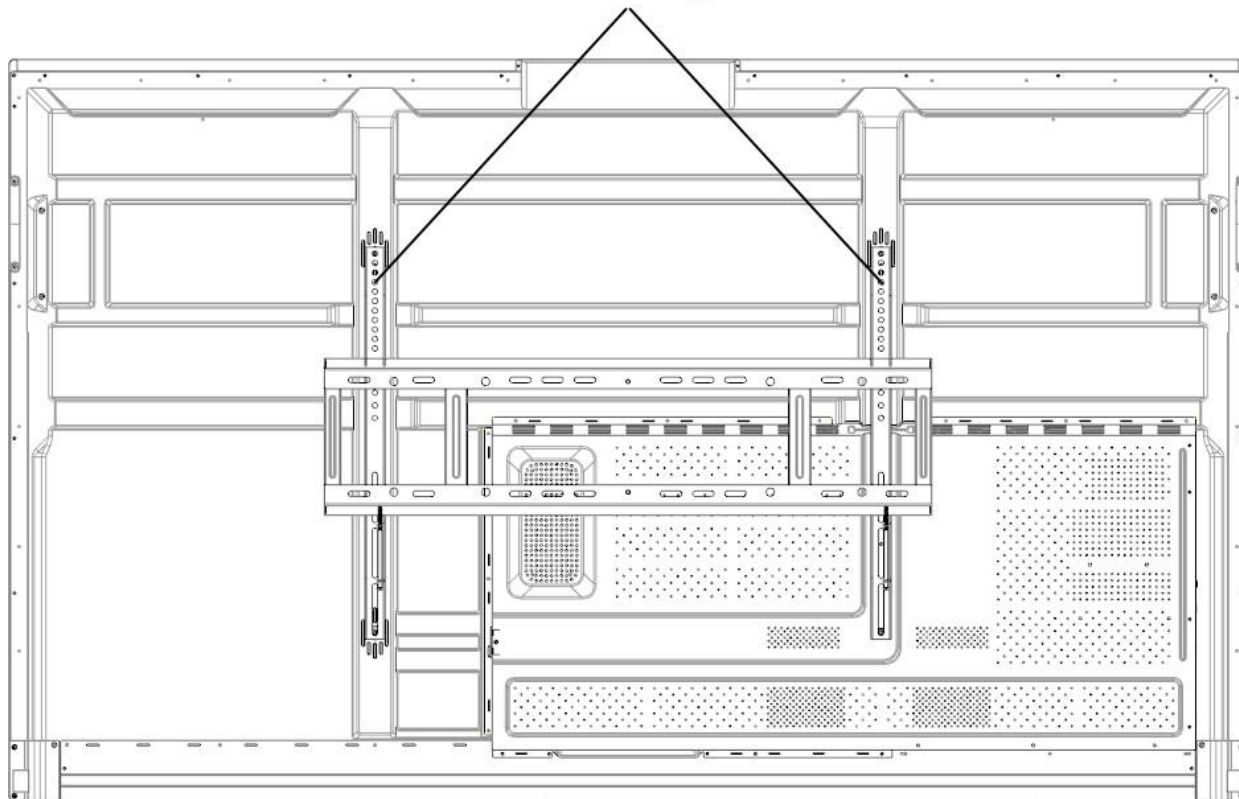


Figure 3-7 壁掛け設置（背面図）（86インチ）

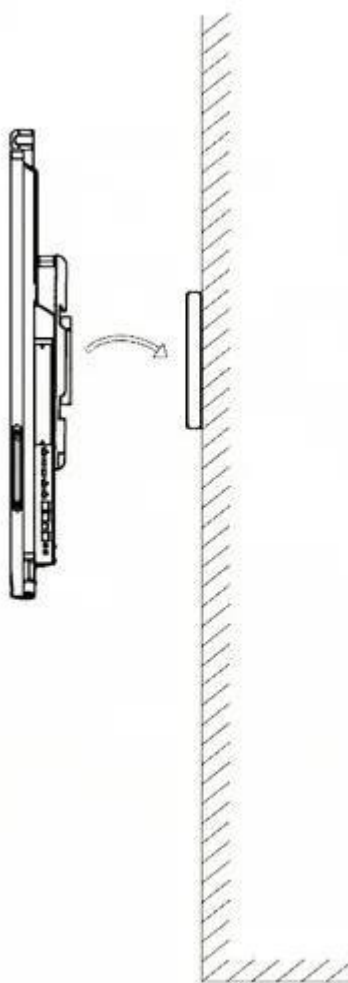


Figure 3-8 壁掛け設置（側面図）

 Note

壁掛けは水平方向に可動します。メンテナンス作業のため、両側に 6 cm 以上（または片側に 12 cm 以上）、上下に 5 mm 以上のスペースを確保してください。

第4章 起動とシャットダウン

4.1 デバイスの起動

4.1.1 Installed Without a Computer Box

手順

- Step 1 本機を電源に接続してください。
- Step 2 電源スイッチをオンにすると、前面パネルの電源インジケータが赤色に点灯します。
- Step 3 前面パネルの電源ボタンを押してデバイスを起動すると、インジケータが青色に変わります。

4.1.2 Installed with a Computer Box

本体の電源を切った状態でボックスを取り付け、取り付け完了後に電源スイッチを入れてください。起動中は、ボックスの電源インジケータが赤色に点灯し、ファンが回転し始めます。ピープ音が鳴った後、電源インジケータが緑色に点灯し、コンピュータが起動します。その間、前面パネルの電源インジケータが青色に点灯し、デバイスの電源が入っていることを示します。

4.2 エコモード

エコモードへの切り替え

前面パネルの電源ボタンを押して、画面を消灯し、エコモードに切り替えます。

デバイスのスリープ解除

デバイスを起動する4つの方法：

- 前面パネルの電源ボタンを押します。
- リモコンの電源オフボタンを押します。
- 画面の任意の場所を2回タップする。

4.3 シャットダウン

- デバイスにコンピュータボックスが接続されていない場合、またはコンピュータボックスがシャットダウンされている場合は、直接電源を切り、デバイスをシャットダウンしてください。
- デバイスが電源が入った状態のコンピュータ本体に接続されている場合は、「スタート」をタップして「シャットダウン」をタップするか、コンピュータボックスの電源ボタンを押してシャットダウンします（強制終了するには

電源ボタンを長押しして強制終了します）。その後、電源を切り、デバイスをシャットダウンしてください。

 Note

デバイスの電源を直接切ると、コンピュータボックスの強制シャットダウンにつながります。次回デバイスが起動した際、Windowsがエラー回復モードに入り、画面のタッチ操作が使用できなくなる可能性があります。その場合は、デバイスにマウスとキーボードを接続する必要があります。

- リモコンの電源オフボタンを長押ししてください。

第5章 メニュー操作

**Note**

ソフトウェアのインターフェースや機能は、機種によって異なる場合があります。本マニュアルの写真はすべてイメージです。

本機の電源を入れ、メインページに移動します。画面の下部にショートカットメニューが表示されます。

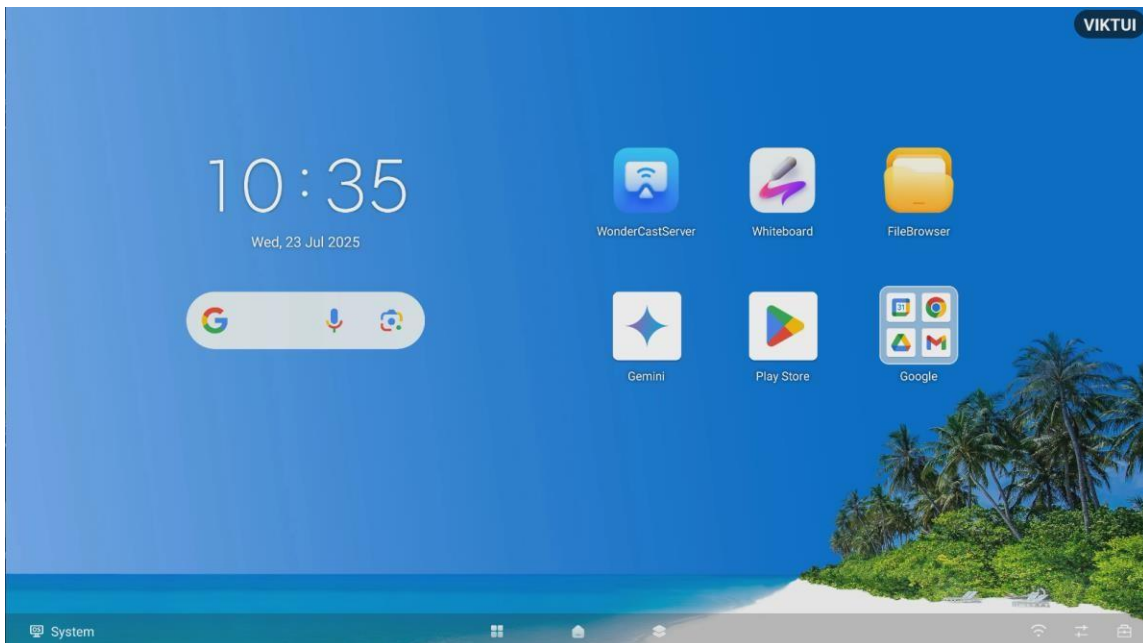


Figure 5-1 メインページ

**Note**

メインページのアプリケーションアイコンを長押しすると、以下の操作を行うことができます：

- アプリケーションを画面間で移動する。
- アプリケーションを他のアプリケーションと一緒にフォルダにまとめる。

5.1 基本的な操作

ショートカットアイコンの機能については、以下で説明します。



Figure 5-2 ショートカット

Table 5-1 ショートカット 説明

No.	番号	No.	番号機能
1	タップすると、下部のメニューバーが非表示になります。	6	タップして、すべてのアプリのプロセスを確認またはクリアします。
2	タップして前のページに戻ります。	7	タップして、ネットワーク設定やホットスポットを設定します。
3	タップして入力ソースを選択します。	8	タップして、明るさと音量を設定します。
4	タップしてすべてのアプリを確認します。 長押しして、選択したアプリを分割画面モードまたはウィンドウモードで表示するように移動します。	9	タップしてコントロールメニューを開きます。
5	タップしてメインページに戻ります。	/	/

Note

斜めのストロークがオフの場合は最大20本のペンを使用できますが、オンにした場合は1本のみとなります。下部バーメニューが非表示になった後は、 から呼び出すことができます。



Figure 5-3 下部バーを表示

5.2 システムバー

システムバーの領域を長押しすると、システムバー内のアプリの配置を変更できます。

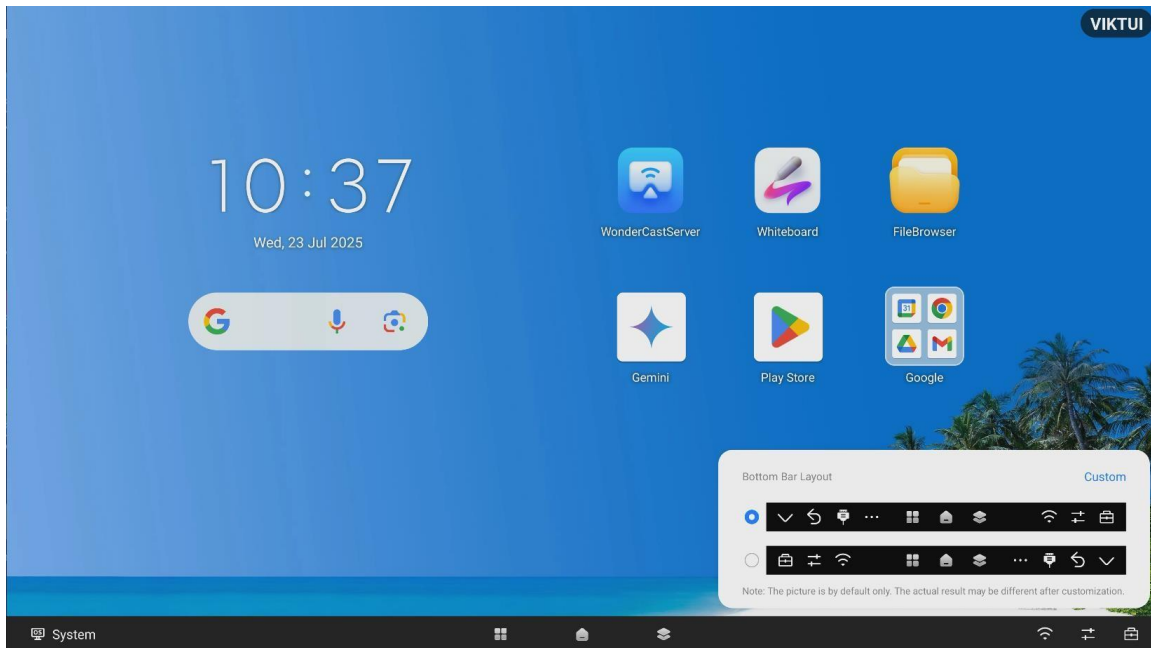


Figure 5-4 システムバーのレイアウト

「カスタマイズ」をタップし、アイコンを移動させて位置を調整します。

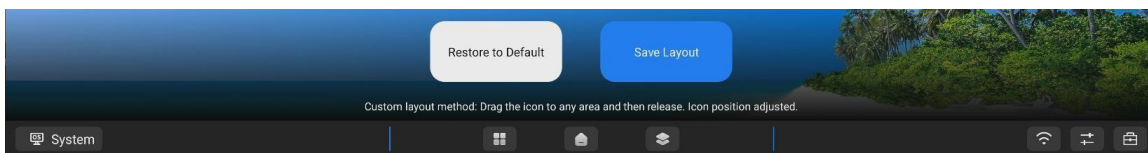


Figure 5-5 システムバーのレイアウトをカスタマイズする

5.3 入力ソース

画面下部の入力ソースアイコンをタップし、デバイスの入力ソースを設定します。**システム**、**HDMI 1**、**HDMI 2**、**Type-C**、**DP**、**VGA**が利用可能です。

5.4 ネットワーク

有線ネットワーク、無線ネットワーク、およびWLANホットスポットの詳細なパラメータを設定します。詳細については [ネットワーク設定](#)

5.5 コントロールメニュー

下部の「」をタップして、コントロールメニューを表示します。以下の操作が可能です。

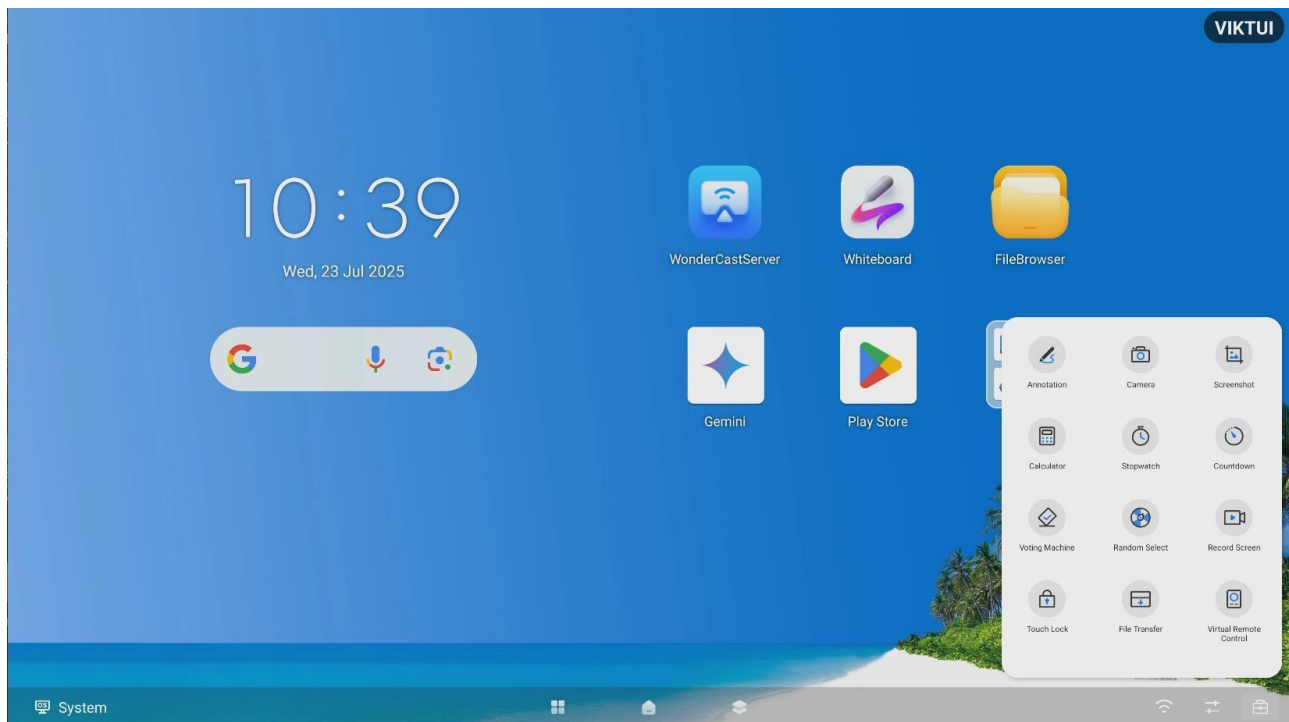


Figure 5-6 コントロールメニュー

Table 5-2 コントロールメニューの説明

ツール	説明
注釈	現在のページに注釈を追加します。
カメラ	デバイスに紐付けられたカメラを開きます。
スクリーンショット	現在のページをキャプチャします。
電卓	電卓を起動します。
ストップウォッチ	ストップウォッチ
カウントダウン	カウントダウン
投票機	投票設定を行って投票します。
カウントダウン	画面を録画します。
画面ロック	タップしてタッチロックを有効にすると、ロックされたページではタッチ操作ができなくなります。ロックをタップして終了すると、タッチ機能は通常に戻ります。
ファイル転送	ファイルを転送します。
仮想リモコン	仮想リモコンを有効にします。ホバー表示のリモコンメニューは、上、下、左、右、確定、戻る、ホームボタンをサポートしており、ホバー表示される仮想リモコンの位置は移動可能です。
メトロノーム	タップしてメトロノームを表示します。スタートボタンをタップすると、ビートが聞こえます。音符とビートは調整可能です。
拡大鏡	「拡大鏡」をタップします。次に画面をタッチすると、拡大用の円が表示されます。画面を動かして詳細を確認してください。円の大きさは調整可能です。
スポットライト	タップして開口部を表示します。明るさとサイズは調整可能です。
画面を固定	現在のページを固定します。
画面を黒くする	タップして画面をオフにします。
カレンダー	日付情報を確認します。
ピアノ	仮想ピアノツール。
ランダムセレクト	ランダムに1つを選択するためのオプション数を設定します。

5.5.1 Annotation

 → **Annotation** に移動してメモを取りましょう。画面をタッチして移動することで、ページのどこにでもメモを追加できます。

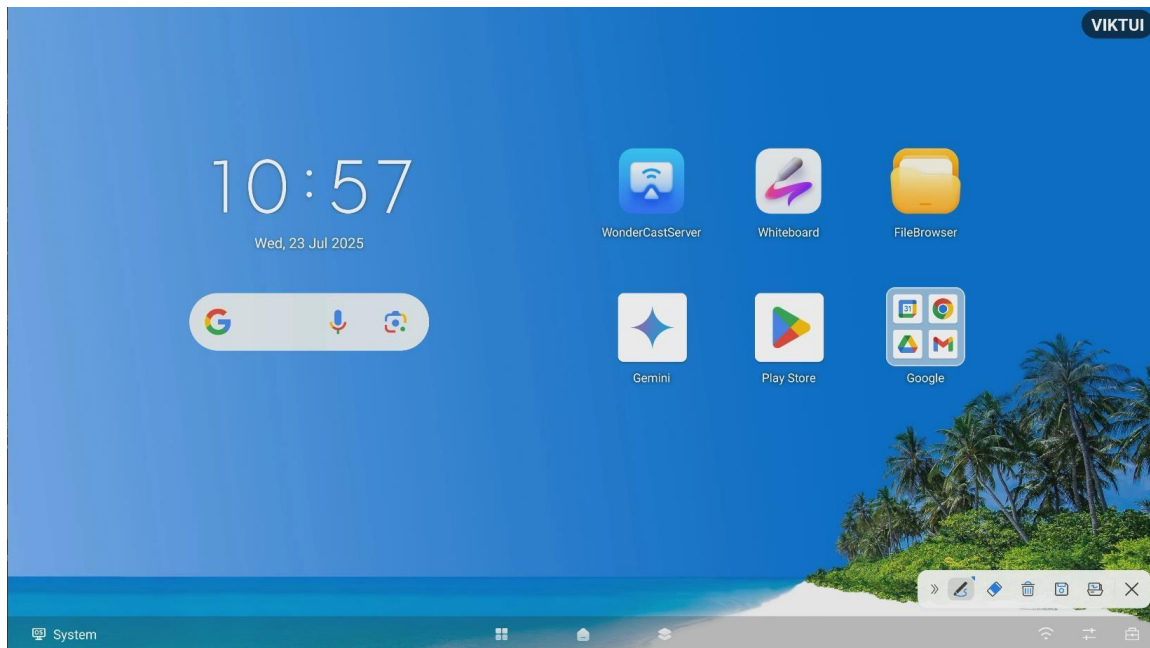


Figure 5-7 メモを取る

Table 5-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	ペンの色とサイズはカスタマイズ可能です。 斜めのストロークを有効にするかどうか。  をタップすると斜めのストロークが適用され、 をタップすると、斜めのストロークのない線になります。
	不要なメモを消去します。
	すべてのメモを消去します。
	現在のページを保存します。 フラットパネルが LAN に接続されたら、ノートの QR コードを生成します。同じ LAN 内のデバイスは、QR コードをスキャンしてノートをダウンロードできます。
	注釈を一時的に保存します。
	メモを終了します。
	ノートツールバーを折りたたむ/展開する。

Note

斜めのストロークがオフの場合は最大20本のペンを使用できますが、オンにした場合は1本のみ使用可能です。

5.5.2 Screenshot

 → 「スクリーンショット」に移動すると、現在のページにキャプチャ領域が表示されます。四隅をタップしてドラッグし、領域を調整してください。領域の右下にスクリーンショットツールバーが表示されます。

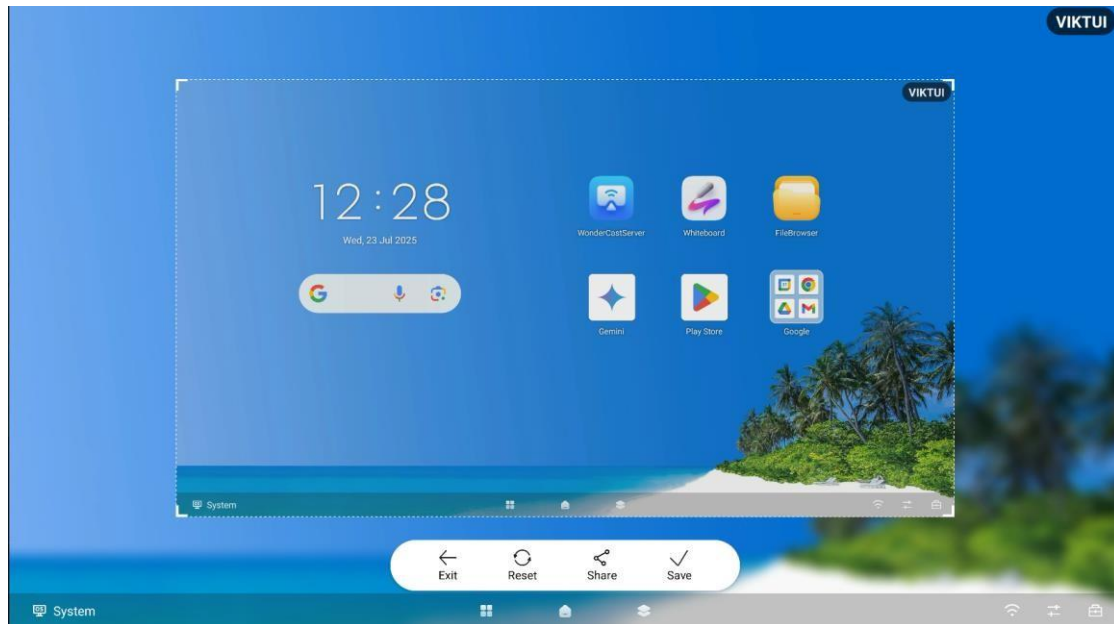


Figure 5-8 スクリーンショット

Table 5-4 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	スクリーンショットを終了します。
	ページ全体をキャプチャします。
	スクリーンショットからQRコードを生成し、同じLAN内のデバイスがQRコードをスキャンしてスクリーンショットをダウンロードできるようにします。
	キャプチャエリアにスクリーンショットを保存します。

5.5.3 Vote Machine

フラットパネルを公共ネットワークに接続したら、コントロールメニューの「投票」をタップします。クイック投票、または設定済みのオプションに基づいた投票を選択できます。

開始する前に

デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

クイック投票

手順

Step 1 「クイック」をタップして、投票オプションの数を選択します。

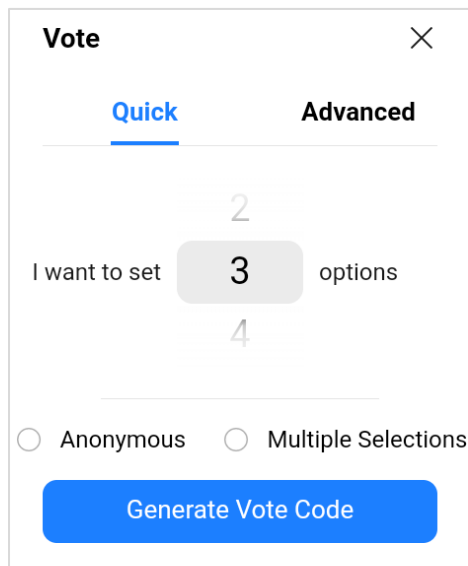


Figure 5-9 クイック投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定してください。

- 匿名：名前を明かさずに投票します。
- 複数選択：投票時に複数の選択肢を選択します。

Step 3 「投票コードを生成」をタップして、携帯電話でコードをスキャンして投票します。

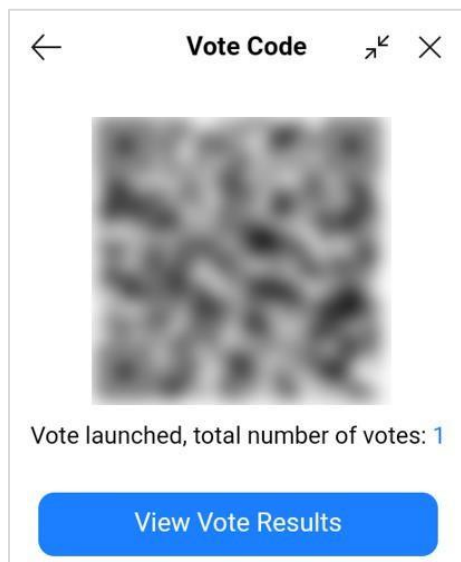


Figure 5-10 携帯電話で投票

Step 4 「投票結果を表示」をタップして投票を終了し、詳細を確認してください。

Step 5（任意）「スキャンしてダウンロード」をタップして、携帯電話に投票結果をダウンロードします。

詳細な投票

手順

Step 1「詳細」をタップして、携帯電話でQRコードをスキャンして投票するように設定します。

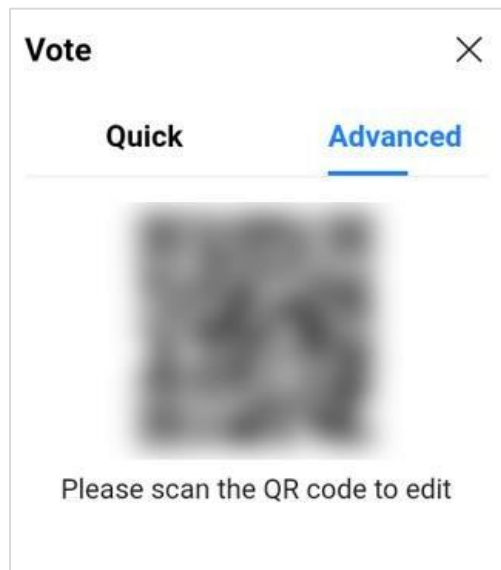


Figure 5-11 詳細設定

Step 2 実際のニーズに合わせて、以下のパラメータを設定してください。

- 投票テーマ/投票オプション：カスタム設定。
- 匿名：名前を明かさずに投票します。
- 複数選択：投票時に複数の選択肢を選択します。

Step 3「投票を開始」をタップして、携帯電話でコードをスキャンし、投票を行います。Step 4「投票結果を表示」をタップして投票を終了し、詳細を確認します。

Step 5（任意）「スキャンしてダウンロード」をタップして、携帯電話で投票結果をダウンロードします。

5.5.4 Random Select

教室では、抽選会を行ったり、質問に答える生徒をランダムに選んだりすることができます。

手順

Step 1  → 「ランダム選択」に移動し、選択肢の数を設定します。「次へ」をタップします。

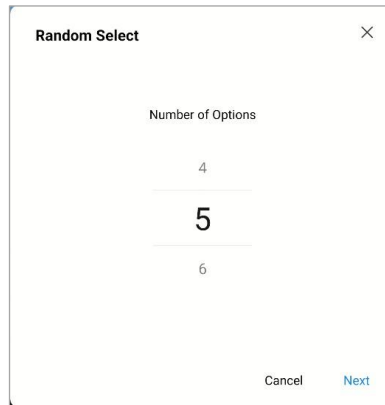


Figure 5-12 選択肢の数を設定

Step 2 「」をタップしてラッキーホイールを回し始め、もう一度タップして停止させます。すると、ランダムに選ばれた選択肢が表示されます。

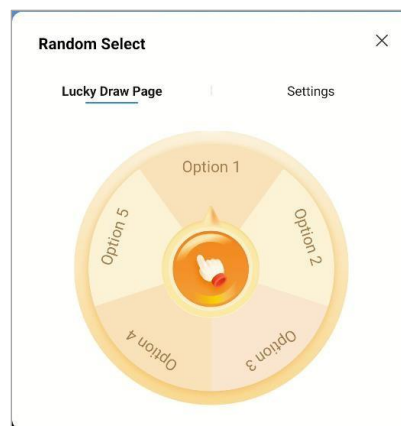


Figure 5-13 ラッキーホイール



「設定」をタップすると、オプションの名前を編集できます。

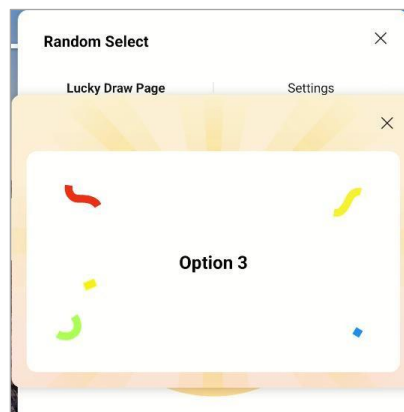


Figure 5-14 選択されたオプション

5.6 カメラ機能

5.6.1 Camera

「カメラ」をタップして、写真や動画を撮影します。

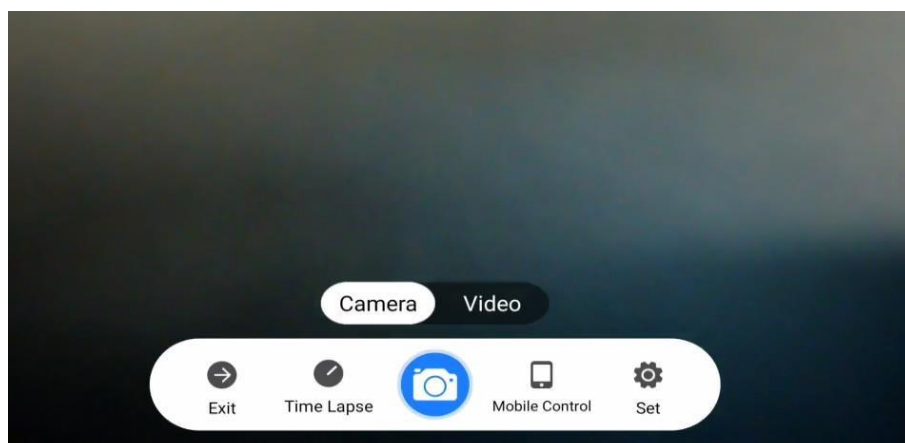


Figure 5-15 カメラ

Table 5-5 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	カメラを終了します。
	選択した遅延時間に従って、撮影を遅延させます。
	写真を撮影します。撮影した写真はホワイトボードにインポートしたり、携帯電話に保存したりできます。
	携帯電話と本機が同じLANに接続された後、コードをスキャンしてカメラを操作し、写真を撮ることができます。

5.6.2 Video

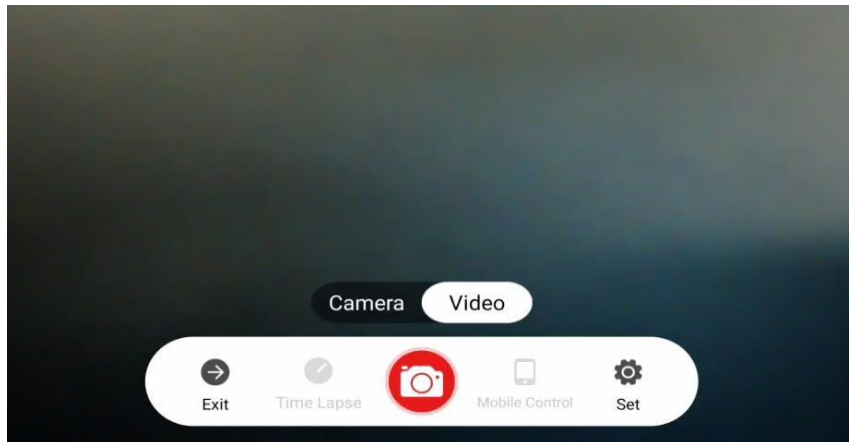


Figure 5-16 ビデオ

Table 5-6 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	動画を終了します。
	録画を開始します。

5.6.3 Settings

「設定」をタップして、以下のパラメータを設定します。

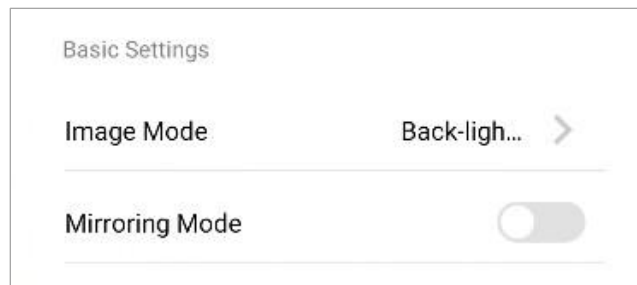


Figure 5-17 カメラの設定

画像モード

タップして、**標準**、**ビビッド**、**逆光**などの画像モードを選択します。**ミラーリングモード**

有効にすると、カメラの映像がミラーリングされます。

第6章 システム設定

デバイスの電源を入れたら、画面にメインページが表示されます。画面を左右にスライドして、アプリケーション、デバイスのステータス、およびヘルプドキュメントを表示します。

6.1 ネットワーク設定

画面の下部にネットワークの状態が表示されます。

Table 6-1 ネットワークの状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

6.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 「設定」→「ネットワーク」→「有線ネットワーク」の順に選択します。「有線ネッ

Step 2 トワーク」を有効にします。

Wired Network	☐
Network Address	Disconnected
MAC Address	00:00:00:00:00:00
Proxy	☐
Static IP	☐

Figure 6-1 有線ネットワークの設定

Step 3 オプション：タップして、**プロキシ**または**静的 IP** を有効にします。

のプロキシ設定

プロキシを有効にする場合は、**プロキシホスト**と**ポート番号**を設定し、プロキシを使用しない URL を設定する必要があります。

Proxy	☒
Port	
Port No.	
The following address do not use	

Figure 6-2 プロキシ設定

静的 IP 設定

静的IPを有効にした場合、**静的IP**、**ゲートウェイ**、**サブネットマスク**、**DNS1**、**DNS2**などのネットワークパラメータを設定する必要があります。

Static IP	☒
Static IP	
Gateway	
Subnet Mask	255.255.255.0
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.8.8

Figure 6-3 固定IPアドレスの設定

6.1.2 Wireless Network Settings

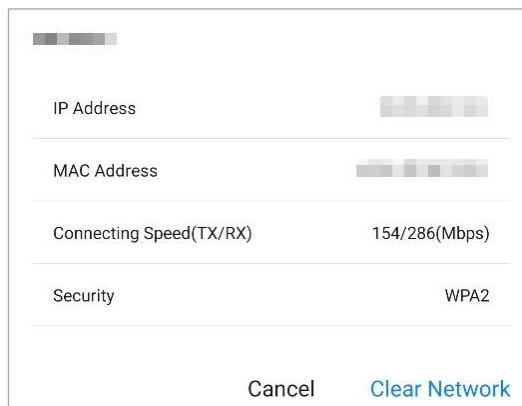
手順

Step 1 「設定」→「ネットワーク」→「ワイヤレスネットワーク」の順に選択します。

Step 2 WLANを有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークへの接続

- 利用可能なネットワーク一覧から接続したいネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。
- 「接続」をタップすると、ネットワーク情報ページが表示されます。「ネットワークを削除」をタップすると、選択したネットワークの情報が削除されます。「キャンセル」をタップすると、ページを閉じます。



A screenshot of a 'Wireless Network Information' screen. It displays a list of network details: IP Address, MAC Address, Connecting Speed(TX/RX) (154/286(Mbps)), and Security (WPA2). At the bottom, there are two buttons: 'Cancel' and 'Clear Network'.

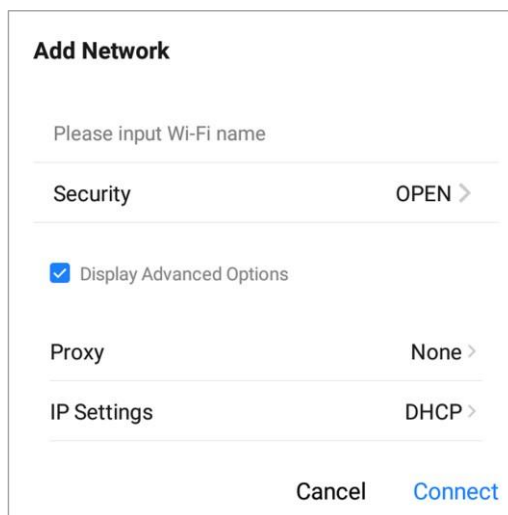
Figure 6-4 ワイヤレスネットワーク情報

その他のネットワークの追加

手順

Step 1 「その他のネットワークを追加」をタップします。

Step 2 Wi-Fiの名前を入力し、「セキュリティ」を選択します。



A screenshot of the 'Add Network' screen. It prompts the user to 'Please input Wi-Fi name'. Below this, there is a 'Security' option with an 'OPEN >' button. A checkbox labeled 'Display Advanced Options' is checked. Further down, there are 'Proxy' (set to 'None >') and 'IP Settings' (set to 'DHCP >') options. At the bottom, there are 'Cancel' and 'Connect' buttons.

Figure 6-5 その他のネットワークを追加

Step 3 オプション：「詳細設定を表示」にチェックを入れて、プロキシおよびネットワークの IP タイプを選択します。Step 4 「接続」をタ

ップして、デバイスを追加したワイヤレスネットワークに接続します。

6.1.3 WLAN Hotspot Settings

デバイスが有線ネットワークに接続されると、WLAN ホットスポットを有効にして他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供できるようになります。

手順

Step 1 [設定] → [ネットワーク] → [ホットスポット] に移動します。

Step 2 「ポータブル WLAN ホットスポット」を有効にします。

最適なチャネル：有効にした後、リストから最適なチャネルを選択できます。

ホットスポットの分離：AP 分離は、ユーザーのプライバシーを保護するために、同じ Wi-Fi ネットワーク上のデバイス間の通信をブロックします。AP 分離を有効にすると、デバイスが LAN に接続されていても、LAN 内のウェブサイトなどのリソースにアクセスすることはできなくなります。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

Device Name	Interactive Flat Panel
Security	WPA2 PSK >
Password	 
AP Frequency	5 GHz >
AP Channel	36 >
Optimal Channel	☐
Hotspot Isolation	☐

Figure 6-6 ホットスポット設定



Note

お使いのデバイスが 2.4 GHz と 5 GHz の両方をサポートしている場合は、無線画面ミラーリングなどの機能をより快適に利用するために、**AP 周波数**を 5 GHz に、**AP チャネル**を推奨チャネルに設定してください。

6.2 ディスプレイ設定

「設定」→「ディスプレイ」に移動し、明るさやスリープ時間などのパラメータを調整します。

Auto Brightness	☐
Brightness Parameter	
Bluelight Filter	☐
Theme	Trendy >
Wallpaper	>
Sleep	No operation after 30min >
Screensaver	>
Screensaver Configuration	>

Figure 6-7 ディスプレイ設定

自動輝度

この機能を有効にすると、デバイスは環境に応じて自動的に輝度を調整します。

明るさ設定

スライダーをスライドさせて、画面の明るさを調整します。

ブルーライトフィルター

ブルーライトをカットして目を守る機能を有効にしてください。

テーマ

デバイスのテーマを設定します。「**設定**」をタップして希望のテーマを選択し、「**適用**」をタップします。**の壁紙**

「**壁紙**」をタップして、壁紙ライブラリまたはシステムの画像ライブラリから希望の画像を壁紙として選択するか、デフォルトの壁紙に戻します。

スリープ

スリープモードになるまでの非アクティブ時間を設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを有効にするまでの非アクティブ時間を設定します。

スクリーンセーバーの設定

ポップアップ画面でスクリーンセーバーの画像をタップして選択し、「**ライブビュー**」をタップして効果を確認します。「**適用**」をタップすると、選択した画像がスクリーンセーバーとして設定されます。スクリーンセーバーはカスタマイズすることも可能です。



Note

「**+**」をタップして、「**スクリーンセーバー設定**」で新しいスクリーンセーバー画像を追加できます。

6.3 オーディオ設定

手順

Step 1 「**設定**」→「**オーディオ**」に移動して、オーディオパラメータを設定します。

Step 2 実際の設置方法に応じて「**オーディオモード**」を選択してください。

- 通常モード：低音があり、自然な音質です。
- 会議モード：クリアなボーカルを強調し、低音を低減する、デフォルトの会議モードです。音量値を調整してください。

Step 3

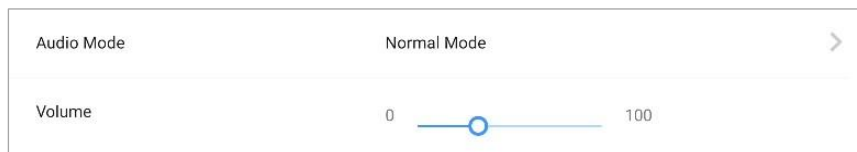


Figure 6-8 オーディオ設定

6.4 言語と入力設定

手順

Step 1 「設定」→「言語と入力」に移動します。

Step 2 「言語」をタップして、希望の言語を選択します。

Step 3 「入力方式」をタップして、希望の入力方式を選択します。「地域」をタップして、地域

Step 4 を選択します。

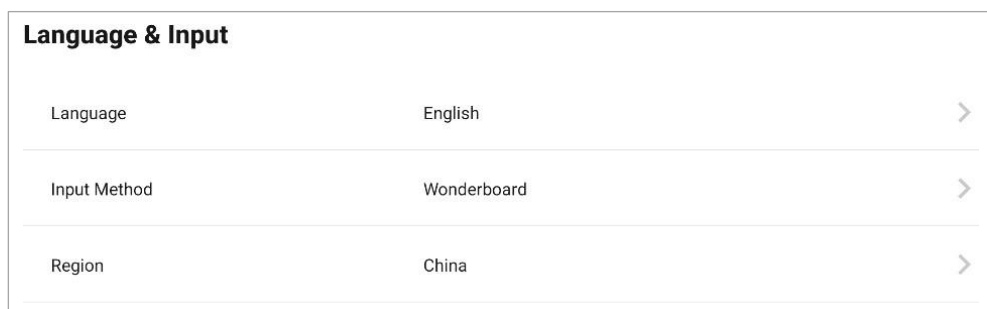


Figure 6-9 言語と入力の設定

6.5 日付と時刻の設定

手順

Step 1 「設定」→「日付と時刻」に進みます。

Date & Time		
24-Hour Format	☒	
Time Sync	☒	
Set Date	2021-02-02	>
Set Time	15:10:17	>
Select Time Zone	GMT+08:00,Beijing	>

Figure 6-10 日付と時刻の設定

Step 2 「時刻同期」を有効にします。

Step 3 「タイムゾーンを選択」をタップして地域を選択します。

Step 4 オプション：「24時間表示」をオンにすると、時刻が24時間形式で表示されます。



Note

「時刻同期」が無効になっている場合は、日付と時刻を手動で設定できます。

6.6 アプリケーション管理

手順

Step 1 「設定」→「アプリケーション管理」に移動します。目的のアプリケーション

Step 2 をタップして詳細を確認します。

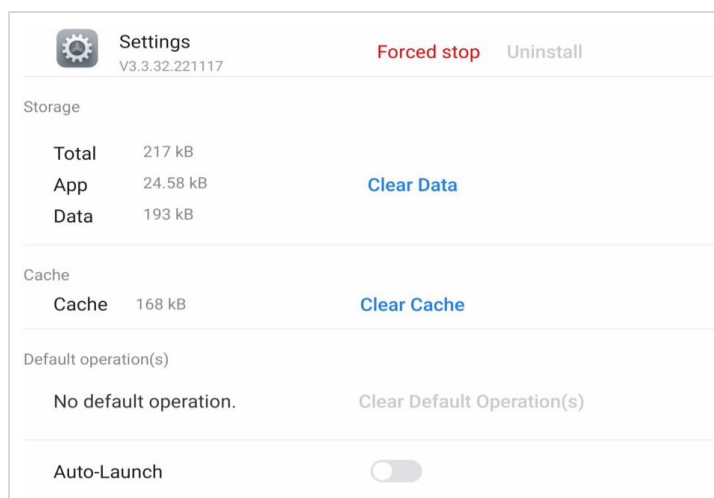


Figure 6-11 アプリの詳細



Note

- プリインストールされたアプリケーションはアンインストールできません。**アプリケーションの詳細にあるアイコンをタップすると、そのアプリケーションを開くことができます。**
- サードパーティ製アプリケーションのインストール後、4K ディスプレイを有効にできます（端末の再起動後に有効になります）。

Step 3 「自動起動」を有効にします。デバイスの電源を入れたら、選択したアプリケーションが自動的に起動します。

6.7 Bluetooth

リモコン、オーディオ機器、キーボードなどはBluetooth経由で接続でき、ファイル転送も可能です。

Bluetoothを有効にして、近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップして接続します。

6.8 補助機能

6.8.1 Sidebar

サイドバーを有効にすると、注釈、信号ソースの切り替え、コントロールメニューのツール、明るさの調整など、一部の機能のクイック操作を利用できます。

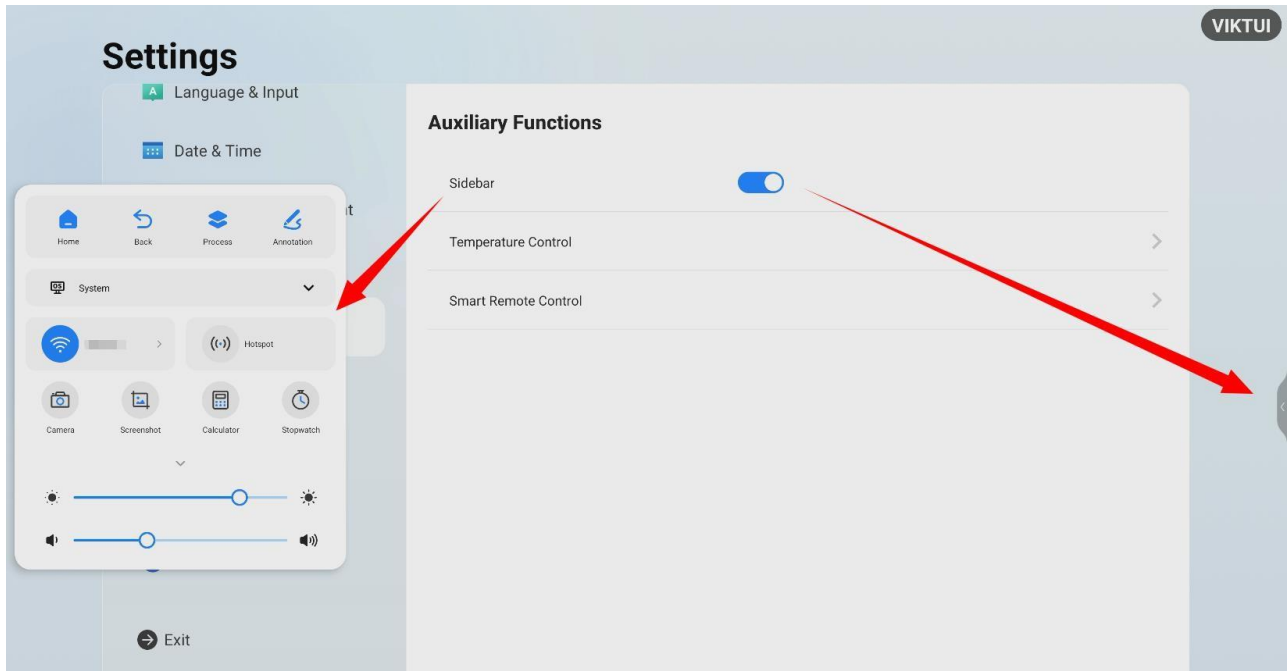


Figure 6-12 サイドバー

6.8.2 Temperature Control

本機は内部温度をリアルタイムで監視します。温度が設定された警告温度または警報温度を超えた場合、本機はプロンプトメッセージを表示し、タイムリーな措置を講じるよう促します。

手順

Step 1 「設定」→「補助機能」→「温度調節」に進みます。

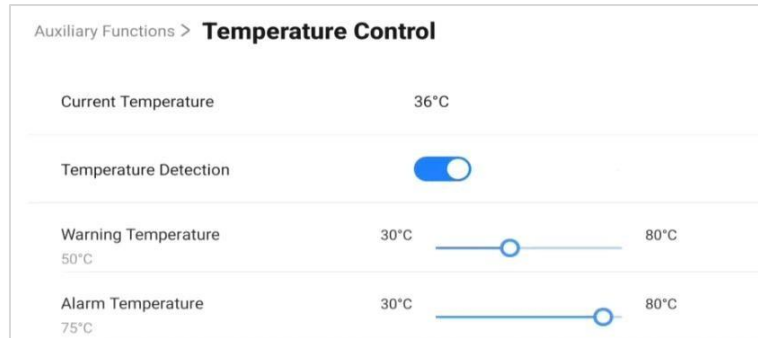


Figure 6-13 インテリジェント温度制御

Step 2 温度検出を有効にします。

Step 3 スライダーをスライドさせて、警告温度とアラーム温度を設定します。



設定したアラーム温度を超えると、温度情報が表示され、デバイスの電源を切るよう促されます。

6.8.3 Physical Button Settings

物理ボタンの機能はカスタマイズ可能です。

手順

Step 1 「設定」→「補助機能」→「物理ボタンの設定」に進みます。

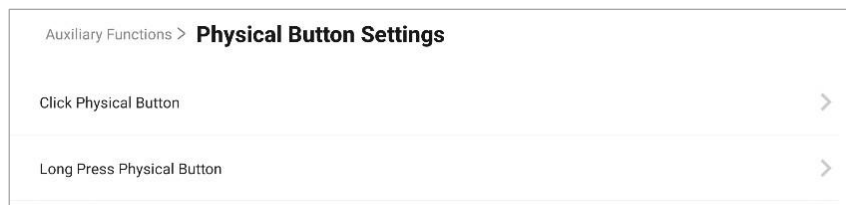


Figure 6-14 物理ボタンの設定

Step 2 「物理ボタンをクリック」をタップして、OPS スイッチ、クイック録画、ホワイトボードのクイックオープン、PC への切り替え、または無操作のいずれかの機能を設定します。デフォルト設定は「PC への切り替え」です。物理ボタンを押すと、デバイスは PC に切り替わります。

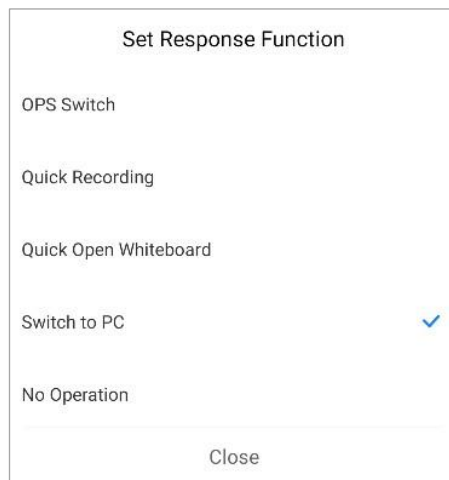


Figure 6-15 応答機能の設定

Step 3 「物理ボタンを長押し」をタップして機能を設定します。物理ボタンを長押しすると、設定した対応する機能が実行されます。

6.9 詳細設定

「設定」→「詳細設定」を選択します。以下のパラメータを設定できます。

Advanced Settings		
Email	Settings	>
Input Source Settings	Settings	>
Select Camera	None	>
Input Device	Line In	>
Output Device	System speaker	>
Startup/Shutdown	Settings	>
Device Permission	Settings	>
QR Code Sharing Settings	Share in LAN Only	>
Wakeup Settings	Settings	>

Figure 6-16 詳細設定

メール

ホワイトボードから共有コンテンツを受信するためのメールアドレスを設定します。

入力ソース設定

● 起動時の入力ソース

デバイスの起動時に使用する入力ソースを選択します。内蔵システムまたは外部入力ソースを選択できます。デフォルトの起動時入力ソースは Android です。入力ソースの名前のカスタマイズが可能です。

● 信号源接続時の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースが接続された際に、システムは新しく接続された入力ソースに切り替わります。

● 信号源から切断時の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースからデバイスが切断された際に、システムは設定された入力ソースに切り替わります。

カメラの選択

デバイスに紐付けられているカメラの中から選択します。

入力デバイス

外部 USB 入力オーディオデバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ入力デバイスを選択できます。

出力デバイス

外部USBオーディオ出力デバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択できます。

起動/シャットダウン設定

● 起動モード

起動またはスタンバイを選択します。

● スケジュール設定

起動およびシャットダウンのスケジュールを設定します。

● 信号なし時のシャットダウン

信号が受信できない場合の自動シャットダウン時間を設定します。

デバイス権限設定

● Wi-Fiを無効にする

Wi-Fi を無効にすると、デバイスはワイヤレスネットワークに接続できなくなります。

● USBフラッシュドライブを無効にする

USBメモリを無効にすると、外部ストレージデバイスを使用できなくなります。

QRコード共有の設定

同じLAN内の他のデバイスと、QRコードを通じてホワイトボードのコンテンツを共有します。

ウェイクアップ設定

シリアルポートからの起動

この機能を有効にすると、シリアルポートのコマンドによってスタンバイ状態のデバイスを起動することができます。

信号ソースからのウェイクアップ

HDMI信号による起動は、デフォルトで有効になっています。本機の電源がオフの状態でも、HDMI入力を通じて電源を入れることができます。



Note

この機能を無効にすると、スタンバイ状態のデバイスは電源スイッチまたはリモコンの電源スイッチで起動できますが、シリアルポートやHDMI経由での起動はできなくなります。

EDIDバージョン

EDIDのバージョンを選択できます。

省エネシャットダウン

「シャットダウン」をタップしてデバイスの電源を切り、省エネを行います。

6.10 ユーザー設定

「設定」→「ユーザー設定」に移動し、アカウント情報とログイン方法を設定してください。

User Settings	
Multi-User Settings	☐
Account Name	Owner >
Login Method	Password Login >
Login Password	Change Password >
Unlock USB Flash Disk	Change USB Flash Disk File >
Unlock Card	Not set. >

Figure 6-17 ユーザー設定

マルチユーザー設定

マルチユーザー設定を有効にすると、現在のユーザーの編集、ログイン方法の設定、アカウントの追加、変更、削除を行うことができます。

アカウント名

自分のアカウント名を設定・編集できます。

ログイン方法

「パスワード不要のログイン」または「パスワードログイン」からログイン方法を選択します。**ログインパスワード**

タップして、ログインパスワードを設定・変更します。

USBフラッシュディスクのロック解除

タップして、USBメモリを使用したログイン方法を設定してください。

手順

Step 1 「**USBフラッシュドライブのロック解除**」をタップします。

Step 2 ログインパスワードを入力し、USBフラッシュドライブを1つ挿入してください。

Step 3 「**ファイルを生成**」をタップします。デバイスが自動的にUSBフラッシュドライブ内にロック解除ファイルを生成します。ファイルが生成された後は、次回からUSBフラッシュドライブを直接挿入するだけで簡単にログインできます。



Figure 6-18 ロック解除用USBフラッシュドライブのリンク

ロック解除カード

タップして、ロック解除カードによるログイン方法を設定します。

手順

Step 1 「**アンロックカード**」をタップします。

Step 2 ログインパスワードを入力すると、「**アンロックカードをリンク**」が表示されます。

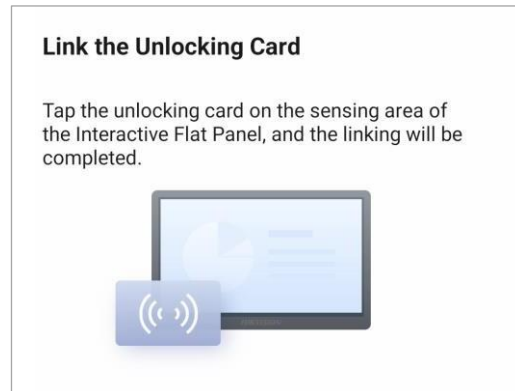


Figure 6-19 アンロックカードのリンク

Step 3 デバイスのNFC読み取りエリアに、ロック解除カードをタッチしてください。ペアリングが完了すると、次回からはロック解除カードを読み取りエリアに直接タッチするだけでログインできます。

6.11 端末情報

「**設定**」→「**端末情報**」から端末情報を確認できます。端末名は変更可能で、端末を初期設定に復元することもできます。



Caution

設定を初期状態にリセットすると、すべてのデータが消去されます。

6.12 ネガティブ画面

画面の左側から右側へスワイプすると、ネガティブ画面が表示され、デバイスのステータスやシステムのヘルプを確認できます。

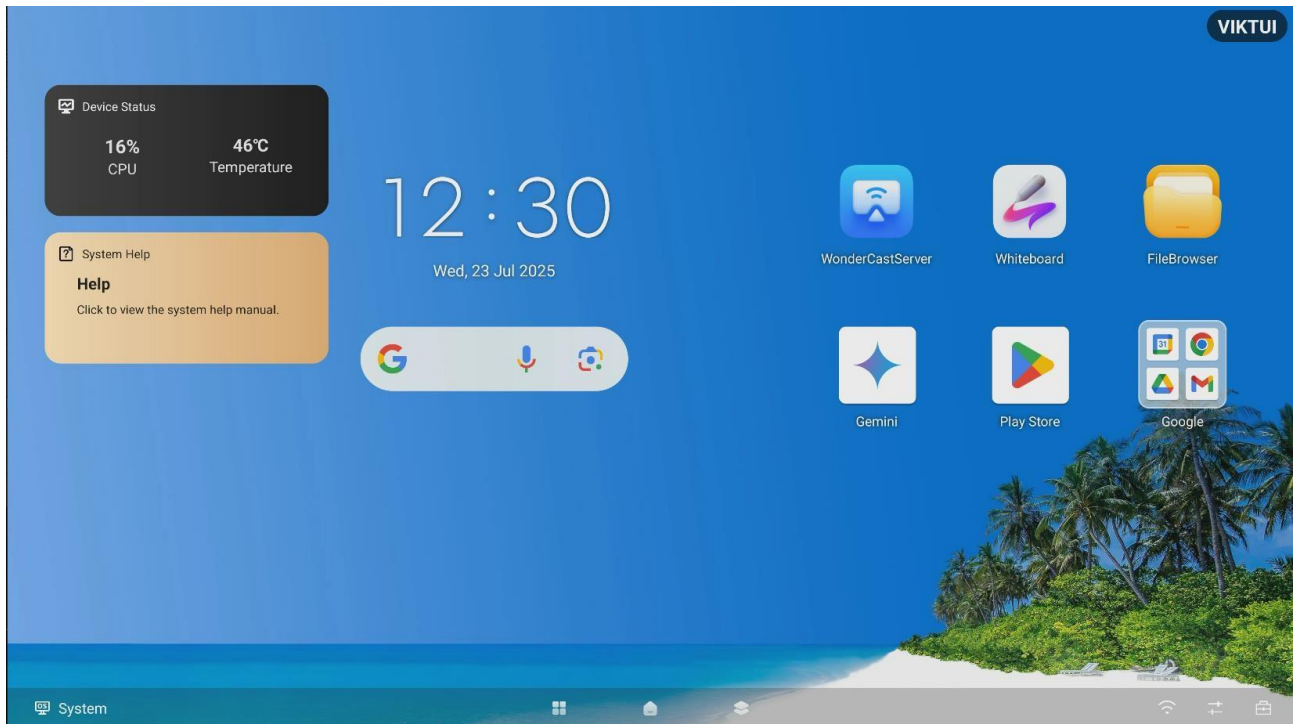


Figure 6-20 ネガティブ画面

第7章 インテリジェントアプリケーション

7.1 FileBrowser

メインページで「**FileBrowser**」をタップします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。

7.1.1 Local Storage

「画像」、「ドキュメント」、「A/V」、「インストールパッケージ」をタップすると、指定したファイルを表示できます。アイコンの説明は以下の通りです。

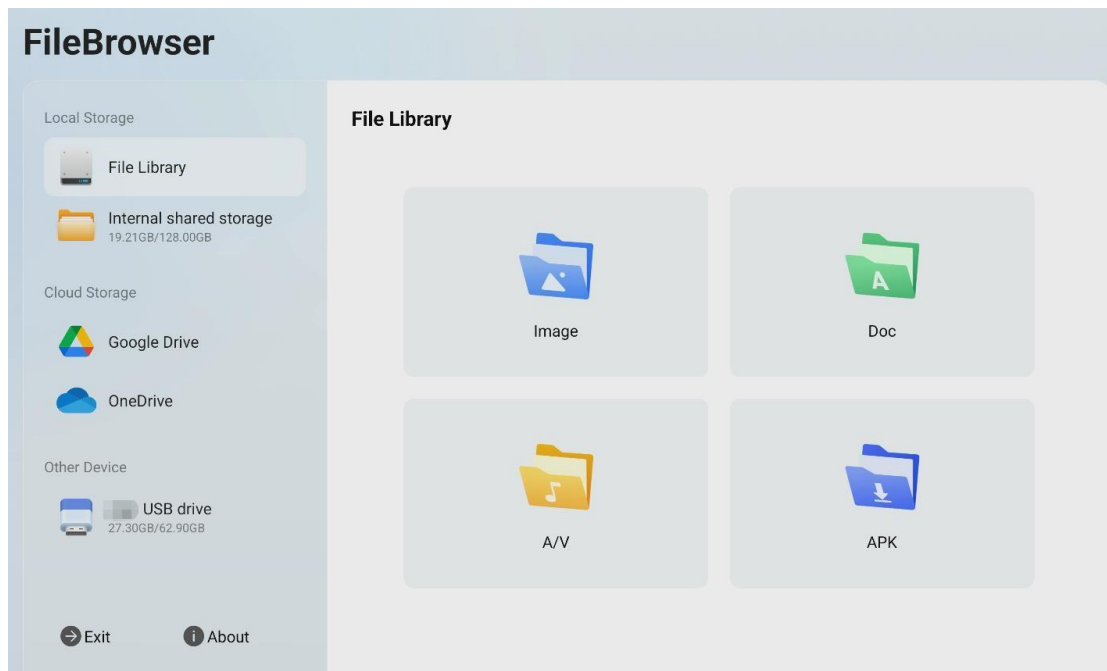


Figure 7-1 ファイル管理

Table 7-1 ファイル管理アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページへ移動します。	作成	フォルダを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリストモードで表示します。	並べ替え	並べ替え
編集	ファイルを編集します。	/	/

「」をタップしてドキュメントを編集します。その他の機能については、以下で説明します。

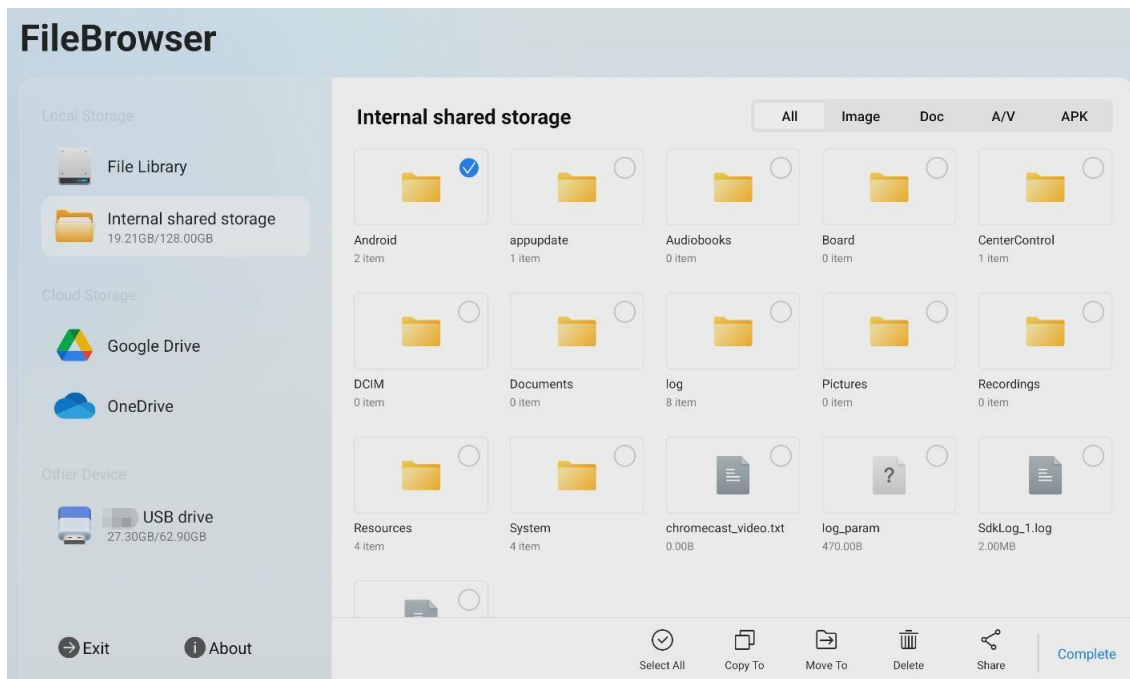


Figure 7-2 ファイルの編集

Table 7-2 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動	移動選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note

ファイルを長押しすると、その他の操作を行うことができます。

7.1.2 Cloud Storage

ご自身のアカウントにログインして、クラウドストレージの内容を確認してください。

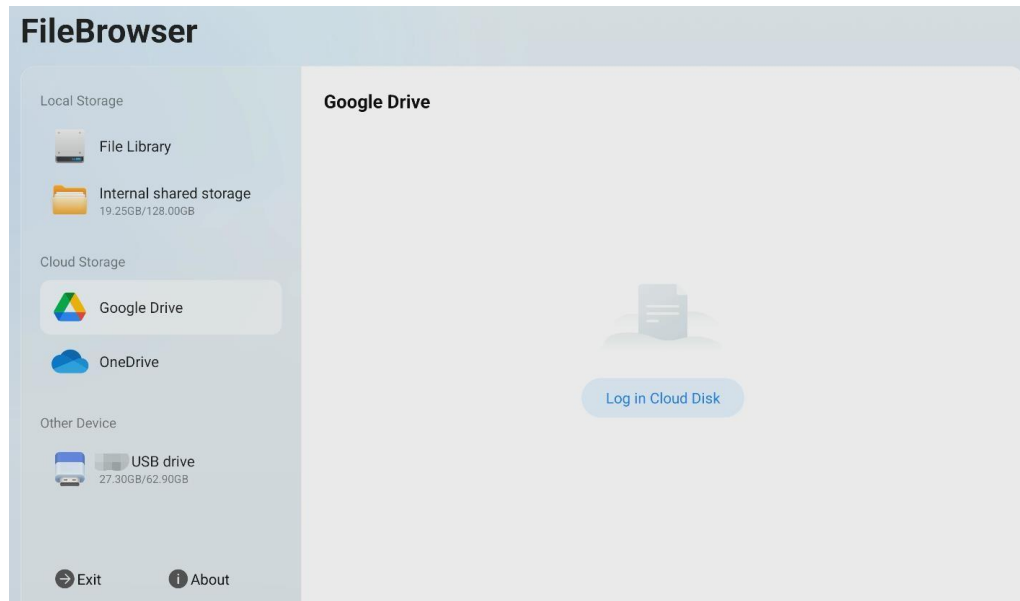


Figure 7-3 クラウドストレージ

7.2 ブラウザ

デバイスをインターネットに接続し、「**ブラウザ**」をタップします。アドレスバーに URL を入力して、インターネット上のテキスト、画像、音声、動画などを表示します。

7.3 ホワイトボード

ホワイトボードは、タッチ入力、画像の挿入、コンテンツの共有などの機能を統合した編集ソフトウェアです。ユーザーは、タッチ入力、消去、ページ切り替え操作を行うために、背景の異なるボードを追加できます。画像のインポートや編集にも対応しており、ホワイトボード上のコンテンツが完成したら、ローカルに保存したり、メールで共有したりすることができます。

7.3.1 Toolbar Basic Operations

ツールバーを使用することで、ホワイトボード上で書き込み、消去、選択、元に戻す/やり直し、その他の操作を行うことができます。



Figure 7-4 ツールバー

書き込み

書き込み機能は、ホワイトボードに書き込むために使用します。ツールバーの「」をタップして、ブラシの種類、色、太さなどのパラメータを調整します。

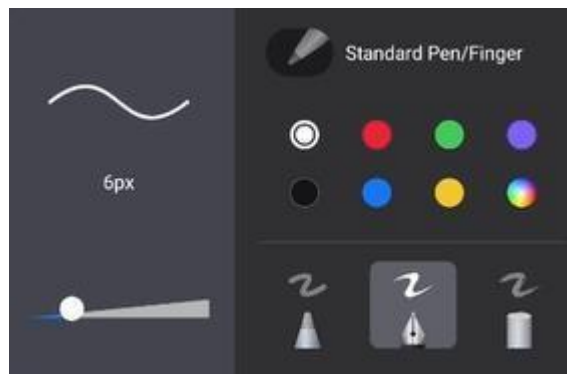


Figure 7-5 書き込みパラメータの設定

消去

消去機能は、ホワイトボードに書かれた内容を消去するために使用します。ツールバーの「」をタップして、以下の操作を選択します。

- 部分消去： をタップし、消去したい領域を消しゴムでタップしてドラッグすると、その範囲内の内容が消去されます。スライダーをスライドさせて消しゴムのサイズを調整できます。
- 円形消去：[] をタップし、削除したい領域を円を描くように囲みます。円内に含まれる軌跡上の内容が削除されます。
- すべて消去： をタップすると、現在のホワイトボードページ上のすべての書き込み内容が消去されます。
- ジェスチャー消去：手のひらや手の甲を画面に当てると、広範囲の消去操作を行うことができます。

円形選択

ツールバーの をタップして、任意の形状の領域（）または長方形の領域（）を囲み、その領域内のコンテンツを編集します。

- ：選択した領域内のコンテンツの色を均一に変更します。
- ：選択した領域のコンテンツをコピーします。
- ：選択した範囲内のコンテンツをロックします。ロックを解除するには、その範囲を長押しするか、「」をタップしてください。
- ：ブラウザで選択した領域を検索します。ポップアップウィンドウに関連する結果（画像またはWebページ）が表示されます。

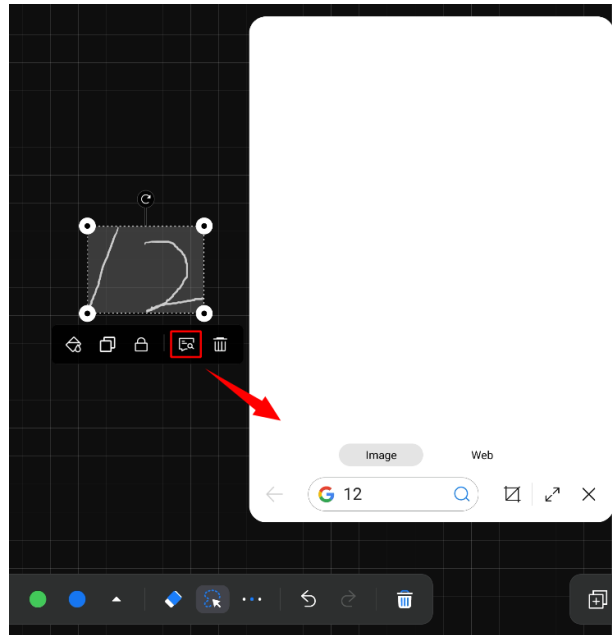


Figure 7-6 選択した領域を検索

- : 選択した領域内のコンテンツを削除します。

Note

- 選択した領域内のコンテンツのサイズ変更、移動、回転に対応しています。
- 選択範囲の外側をタップすると、範囲の選択が解除されます。

元に戻すまたはやり直し

誤って書き込んだり消去してしまった場合、元に戻すツールを使って操作を元に戻すことができます。

- : タップすると、直前の操作を元に戻します。
- : タップすると、前の操作をやり直します。

7.3.2 More Tools

ツールバーの「」をタップすると、以下のツールが表示されます：

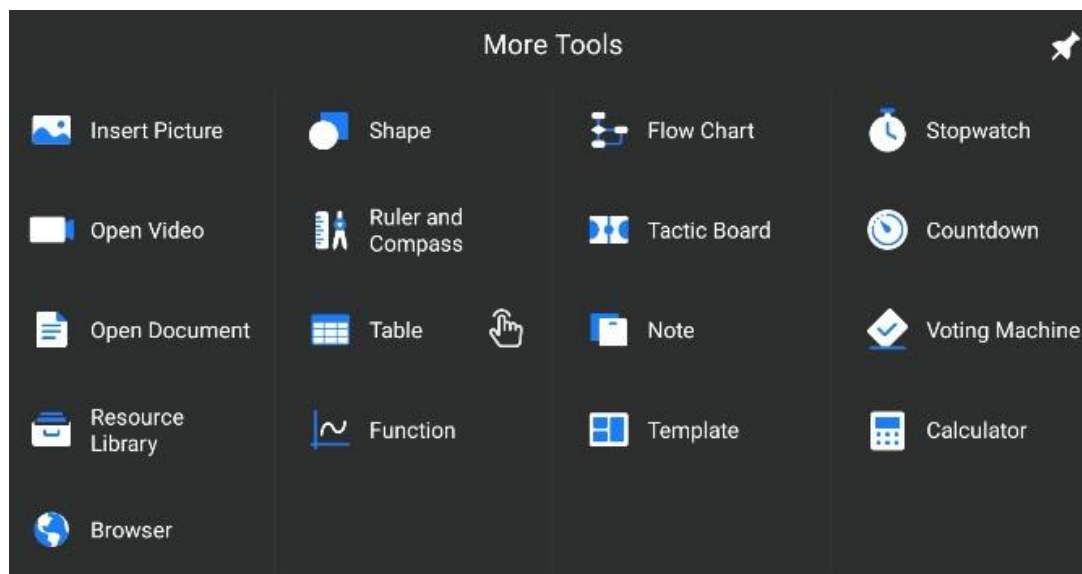


Figure 7-7 その他のツール

Table 7-3 ツールの説明

アイコン	名前	説明
	図形	2Dおよび3D図形を挿入します。
	定規 とコンパス	定規、分度器、直角定規、またはコンパスを使用します。ドラッグしてサイズや角度を調整します。
	表	- 表を挿入します。 - 表を長押しして行や列を追加・削除します。 - テーブルをドラッグして移動またはサイズ変更します。 - テーブルをタップして、テーブル内の文字の色を変更できます。 「」をタップし、「Shape Recognition」を有効にします。水平線や垂直線を描くと、テーブルの認識がトリガーされます。
	関数	- 線形、2次、および三角関数を挿入します。 - 式内の係数、定数項、正負の符号、正弦、余弦、または正接関数を編集できます。 「OK」をタップして関数グラフを挿入します。グラフの移動、拡大・縮小、編集、削除が可能です。 をタップすると、グラフを元の位置にリセットできます。
	フローチャート	- さまざまな図形や線を選択して、ホワイトボード上にフローチャートを描くことができます。 「」をタップして、シェイプバーを固定します。

アイコン	名前	説明
	戦術ボード	タップしてバスケットボールの戦術ボードを作成します。
	メモ	メモを挿入します。メモの移動、サイズ変更、コピー、および色の変更に対応しています。
	テンプレート	● P.D.C.A、S.M.A.R.T、S.W.O.Tのテンプレートを挿入します。 ● テンプレートに直接書き込み、メモを挿入、エクスポート（SVG形式）、またはテンプレートを削除できます。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを開きます。
	カウントダウン	カウントダウンを開きます。
	投票機	投票機を開く。
	電卓	電卓を開く。
	画像の挿入	画像を挿入した後、画像の固定、サイズ変更、移動、回転、削除、およびその領域に書かれた文字の色を変更することができます。
	動画を開く	動画ファイルの再生。
	ドキュメントを開く	PPT、PPTX、DOC、DOCX、およびPDF形式のドキュメントを開いて表示します。
	ライブラリ	タップして画像や動画を検索し、挿入します。
	ブラウザ	ホワイトボードの横にあるブラウザを呼び出します。

Note

- 「」をタップすると、サイドバーが表示されます。

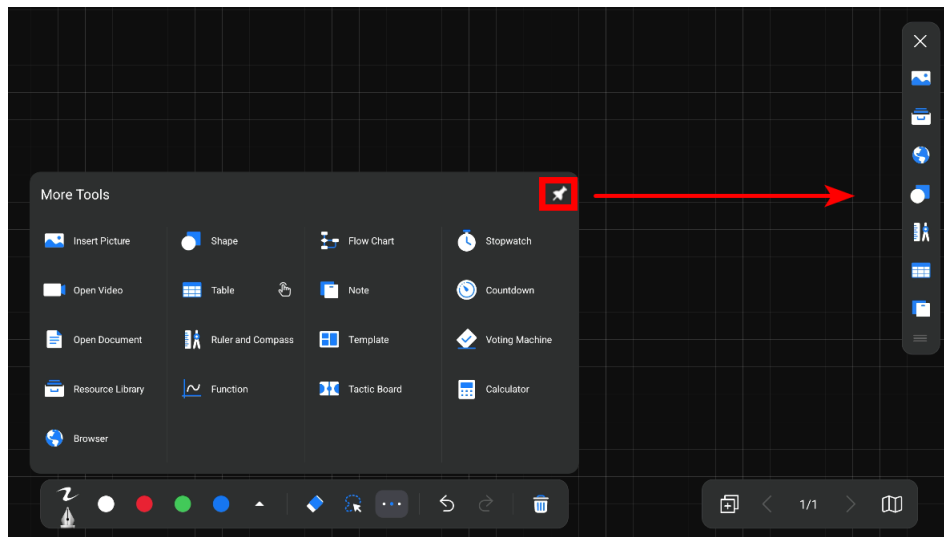


Figure 7-8 ツール サイドバー

- 図形や表の任意の角をタップして、展開することができます。

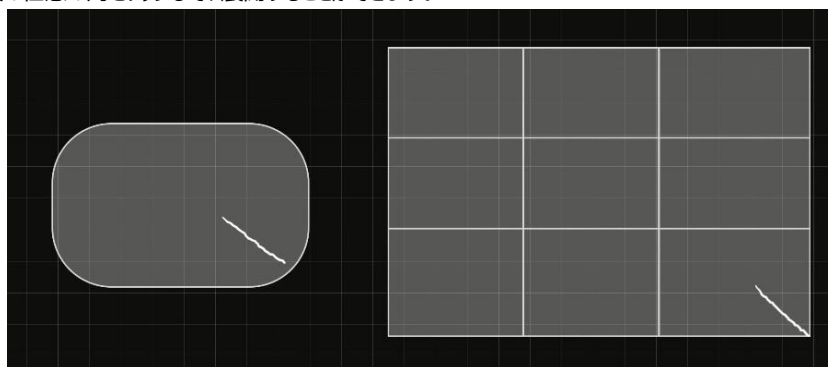


Figure 7-9 図形と表の展開

- ライブラリとブラウザは、ホワイトボードアプリケーションが全画面表示の場合にのみサポートされます。
- 機能は状況によって異なる場合があります。実際のページをご参照ください。

戦術ボード

- 1) タップ  タップして、バスケットボールまたはフットボールの戦術ボードを作成します。

Note

バスケットボールとサッカーの戦術ボードの機能は共通しています。ここでは、例としてバスケットボールの戦術ボードを紹介します。

- 2) 「」を移動させて、選手の位置を変更します。

- 3) 右下隅の「」を有効にすると、選手の上に線を引くことができます。線の種類が表示されるので、その中から選択してください。

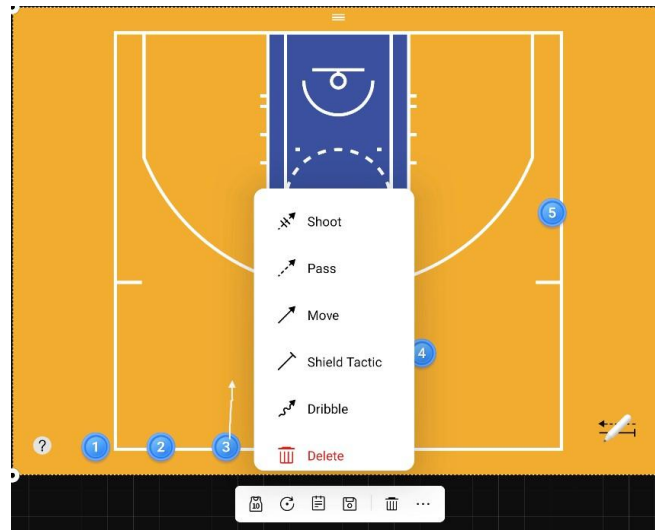


Figure 7-10 線の種類を選択

- 4) 「」をタップして選手の人数を選択します。「」をタップして戦術を選択します。

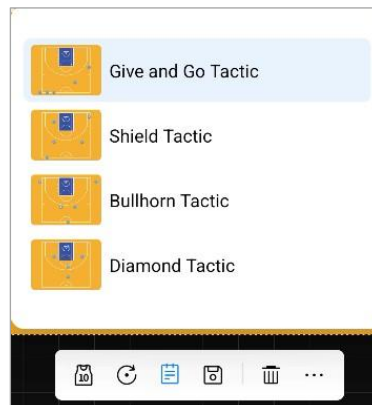


Figure 7-11 戦術の選択

Note

プレイヤーの位置を変更した場合は、「」をタップして位置をリセットします。

- 5) ボード上に独自の戦術を描き、「」をタップして戦術に名前を付け、保存してください。保存した戦術は、「」で確認できます。
- 6) 左下の「」をタップすると、機能ガイドが表示されます。

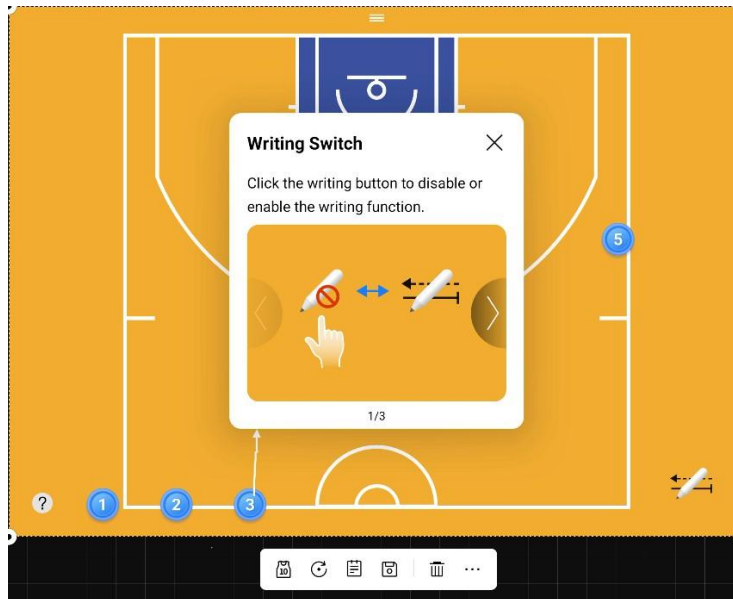


Figure 7-12 機能ガイド

- 7) 「...」をタップして、ホワイトボード上のレイヤーの位置を変更します。

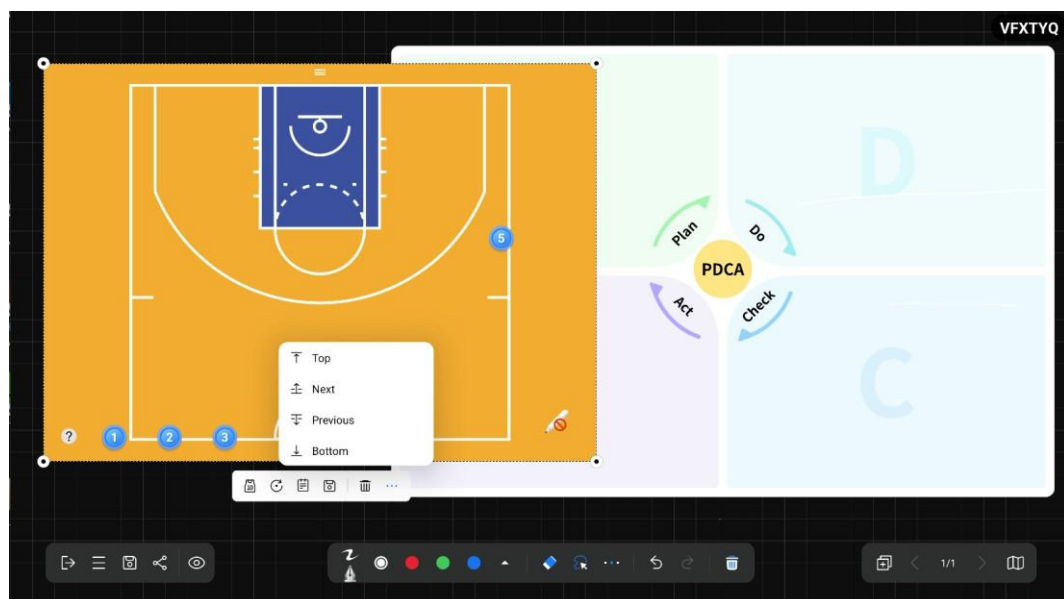


Figure 7-13 レイヤーの位置を変更する

ドキュメントを開く

PDF 形式のホワイトボードドキュメントを挿入して、編集することができます。

手順

Step 1 現在のホワイトボードページを PDF 形式で保存すると、ファイルは自動的に FileBrowser に保存されます。

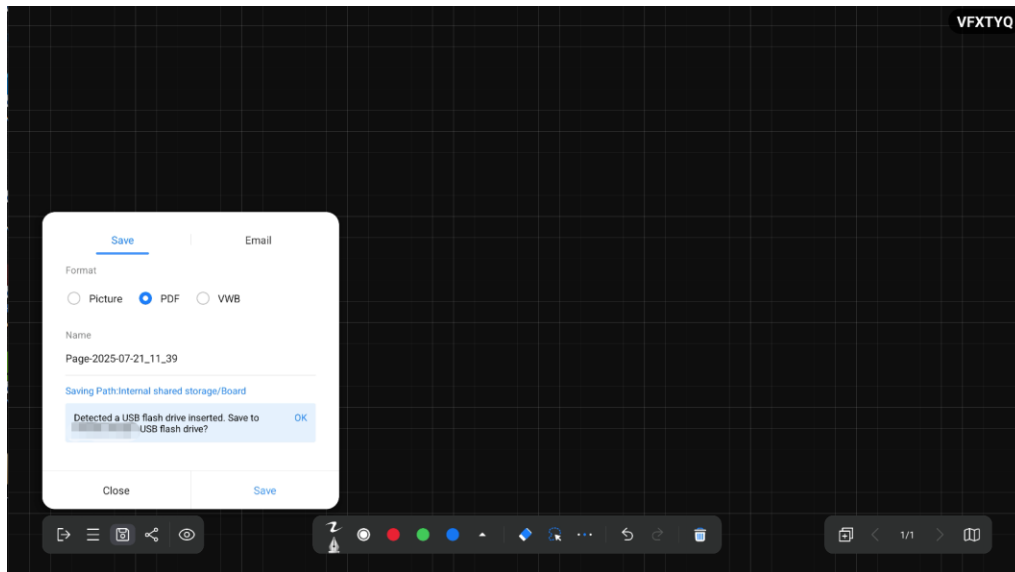


Figure 7-14 PDF形式で保存

Step 2 「」→「 Open Document」をタップし、「ファイルライブラリ」を選択します。「ボード」をタップすると、保存されたホワイトボード文書が見つかります。



Figure 7-15 ドキュメントを開く

Step 3 挿入したいドキュメントをタップすると、保存されたホワイトボードページ上で編集できます。

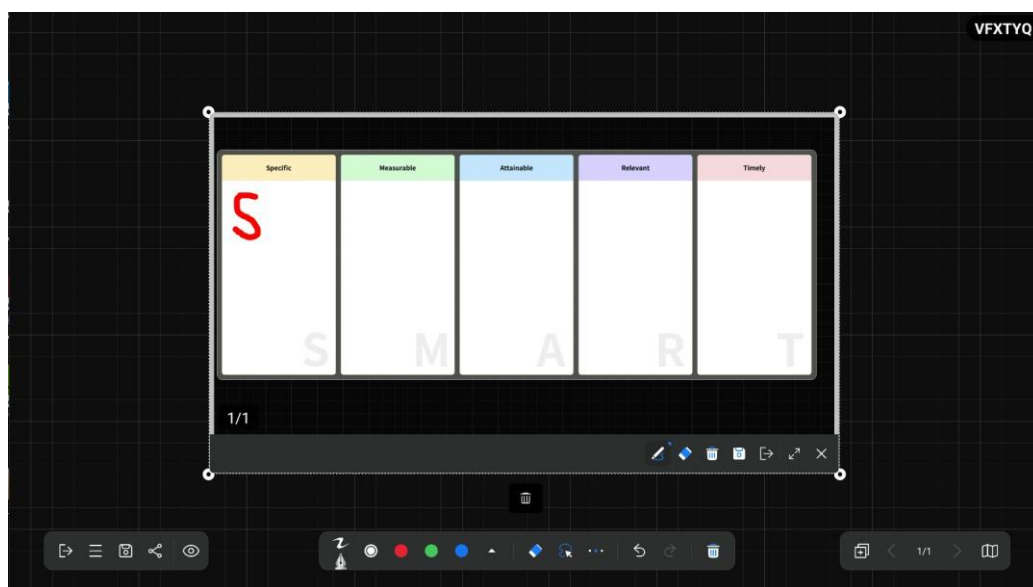


Figure 7-16 ドキュメント上で編集

Table 7-4 挿入されたドキュメントの機能

アイコン	説明
	タップしてその他の編集オプションを表示し、ドキュメントに書き込みます。
	内容を消去します。
	コンテンツを削除します。
	新しいドキュメントとして保存します。
	編集を終了します。
	ドキュメントを展開します。
	ドキュメントを閉じる。ドキュメントを削除する。
	ドキュメントを削除します。
	左側のサムネイルを探します。サムネイルを表示するか、ページ番号を表示するかを選択できます。

7.3.3 Manage Whiteboard

新しいホワイトボードを作成したり、ホワイトボードを切り替えたり、ホワイトボードを削除したりできます。

Table 7-5 機能の説明

機能	説明
ホワイトボードの追加	右下の「  」をタップして、ホワイトボードページを追加します。
ホワイトボードを切り替える	「  」または「  」をタップして、ホワイトボードのページを切り替えます。
ホワイトボードのドラッグ	1つのホワイトボードは無限に広いため、5本の指でホワイトボードページを上下左右にドラッグして、書き込みスペースを拡張できます。
ホワイトボードの表示	ページ番号エリアの「  」をタップすると、ホワイトボードページのサムネイルが表示されます。サムネイルを上下にスワイプし、ページをタップすると、そのページにジャンプします。
ホワイトボードの削除	ページ番号エリアの「  」をタップし、ページの右下隅にある「  」をタップすると、そのページを削除できます。
グローバルナビゲーション	「  」をタップしてグローバルナビゲーションを開きます。ポップアップウィンドウ内の青いボックスをドラッグして、ホワイトボードの他のエリアに移動します。



ホワイトボードを閉じると、すべての情報がリセットされます。

7.3.4 Save Whiteboard

ホワイトボードの内容が完成したら、参照用にデバイスにローカル保存したり、他のユーザーと共有したりできます。

手順

Step 1 ホワイトボードの左下にある「」をタップします。

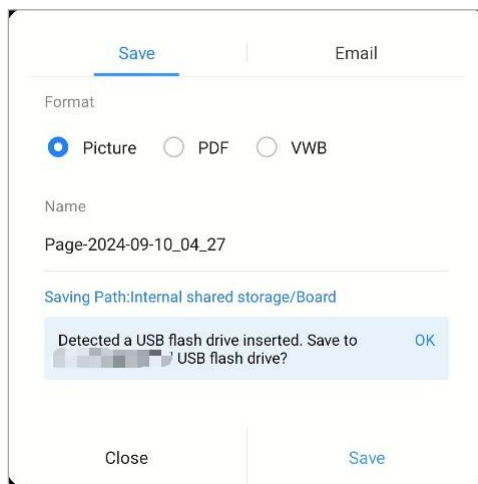


Figure 7-17 ホワイトボードを保存

Step 2 形式を選択します。



ボードは、PNG 形式の画像、PDF 形式のドキュメント、または編集可能な VWB 形式のファイルとして保存できます。

Step 3 (オプション) ボードの名前を編集します。Step 4 [保存] をタ

ップします。

7.3.5 Share Whiteboard

ユーザーは、メールやQRコードを使ってホワイトボードを他の人と共有できます。

メールで共有

ホワイトボードの左下にある「」をタップし、「メール」を選択します。



開始する前に、メールサーバーが設定されていることを確認してください。

QRコードで共有

左下の「」をタップすると、同じ LAN 上のモバイルデバイスがコードをスキャンしてホワイトボードのコンテンツをダウンロードできます。



Figure 7-18 QRコードで共有

7.3.6 More Functions

ホワイトボードの左下にある「」をタップすると、画面分割での書き込みや2色書き込みなどの機能を利用できます。

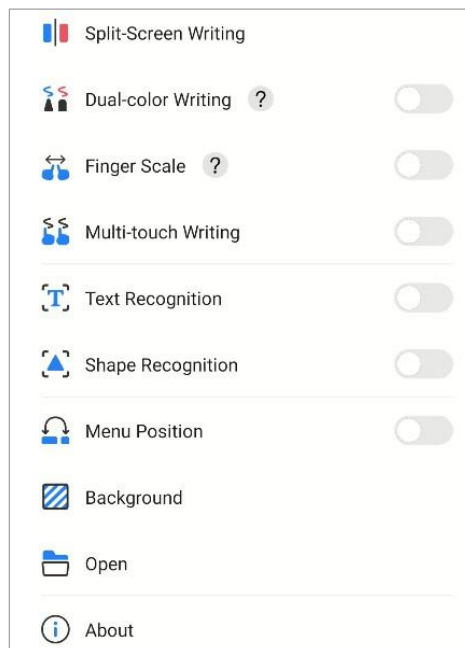


Figure 7-19 その他の機能

画面分割書き込み

分割画面でのホワイトボード同時書き込みに対応しています。

- 「」または「」をタップして、2 つまたは 3 つの画面を切り替えます。
- 「」をタップすると、分割画面書き込みモードを終了します。



分割画面の数を変更したり、分割画面での書き込みを終了したりすると、現在の内容は保存されません。

2色書き

有効にすると、筆記ペンの先端と後端で異なる色を選択できるようになります。



- ストロークサポートを長押しすると、ペンの感度を調整できます。
- 「」をタップすると、機能ガイドが表示されます。

指での拡大縮小

有効にすると、2本の指を使ってページの拡大・縮小ができます。 をタップすると、機能ガイドが表示されます。

マルチタッチ書き込み

有効にすると、ホワイトボードはマルチフィンガータッチに対応し、複数の指で同時にホワイトボードを編集できるようになります。

文字認識

有効にすると、ホワイトボードは描かれた文字を認識し、通常のテキストに変換します。



マルチタッチ入力とテキスト認識は、同時に有効にすることはできません。

図形認識

有効にすると、ホワイトボードは描かれた図形を認識し、通常の図形に変換することができます。



- 認識可能な図形には、円、三角形、四角形、および直線が含まれます。
- テキスト認識と図形認識は、同時に有効にすることはできません。

メニューの位置

有効にすると、ホワイトボードの左側のメニューと右側のページ番号が入れ替わり、機能アイコンやメニューに簡単にアクセスできるようになります。

背景

ホワイトボードの背景と陰影を設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズできます。

開く

VWB 形式で保存されたホワイトボードファイルを再度編集するために開きます。

バージョン情報

バージョン情報、オープンソース契約などを表示します。

設定の更新

手順

Step 1 [バージョン情報] → [更新設定] に移動します。

Step 2 (オプション) 「更新を確認」を有効にします。新しいバージョンが検出されると、Whiteboardを終了する際に、ソフトウェアを更新するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

(オプション) 「自動更新」を有効にします。ソフトウェアが自動的に更新されます。

Step 3

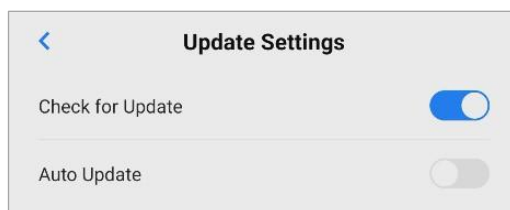


Figure 7-20 更新設定

ツールバーを非表示にする

左下の「」をタップするとツールバーが非表示になります。「」をタップすると展開されます。

7.4 WonderCastServer

PCやスマートフォンの画面をインタラクティブフラットパネルにミラーリングしたり、PCやスマートフォンからフラットパネルを操作したりできます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 7-21 WonderCastServer

7.5 WonderSeminar

WonderSeminarは、最大8台のデバイスを同時にグループ接続できるため、シームレスなコラボレーションを実現します。この革新的なソリューションにより、デバイスのコンテンツ配信、

グループ比較の実施、アクセス権限の管理などが可能であり、様々な業務シーンに最適です。WonderSeminarは、マルチスクリーン環境での教室でのディスカッションに完璧に対応し、複数の会議スペースを跨いだ同期プレゼンテーションを実現することで、会議室の接続性を向上させます。

手順

Step 1 WonderSeminarを開き、まずお使いのデバイスにグループの役割を割り当てます。その後、「OK」をタップします。



Note

以下の例では、管理者デバイスの操作手順を示します。

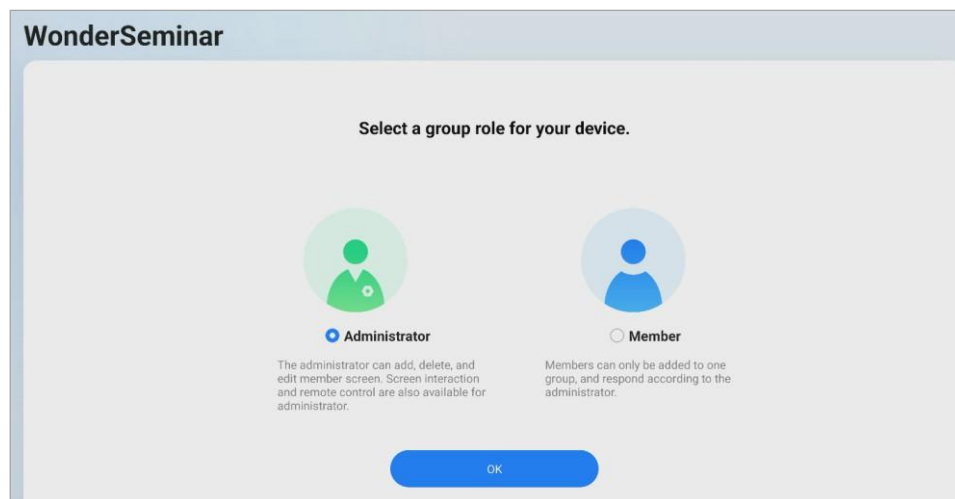


Figure 7-22 グループロールの選択

Step 2 「」をタップしてデバイスを追加すると、検出したデバイスが右側に表示されます。一部のデバイスが一時的に検出されない場合は、それらのデバイスのパスコードを入力して追加してください。

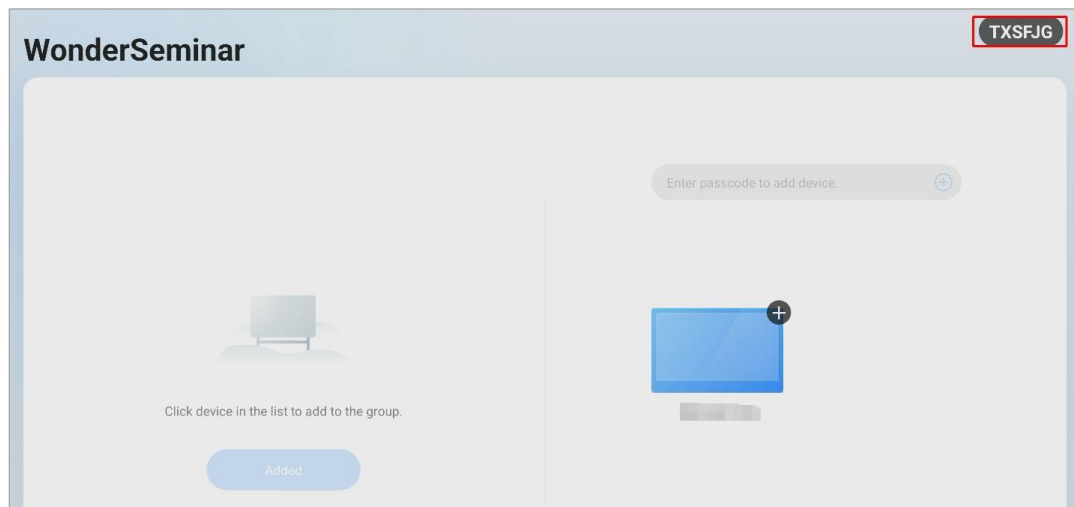
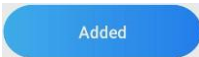


Figure 7-23 デバイスの追加

Step 3 「」をタップして、グループにデバイスを追加します。「」をタップすると、グループに追加されたすべてのデバイスを確認できます。

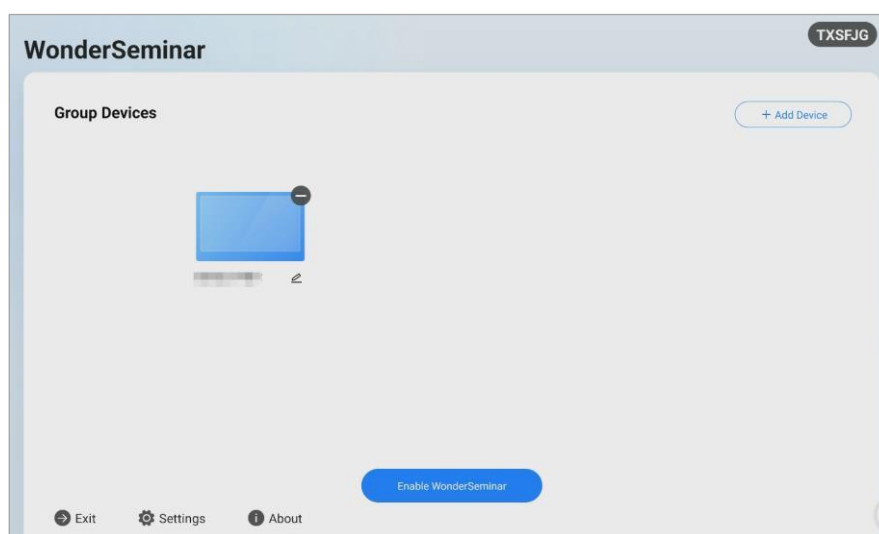
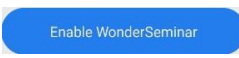
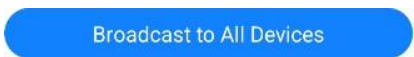


Figure 7-24 追加されたデバイス

Step 4 「」をタップすると、その他の機能が表示されます。

7.5.1 Broadcast and Call Screens

ブロードキャスト

「」→「」をタップすると、管理者デバイスがすべてのメンバーデバイスにブロードキャストされていることが確認できます。

Note

たとえば、教室では、すべての生徒のデバイスに教師のデバイスの操作が表示されるようになります。

画面の呼び出し

タップ [Edit Broadcast Image](#) をタップすると、最大4台のデバイスをドラッグでき、それらの画像を管理者デバイスに表示できます。

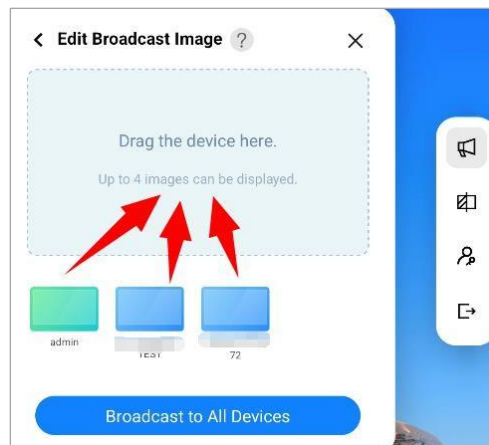


Figure 7-25 デバイスのドラッグ

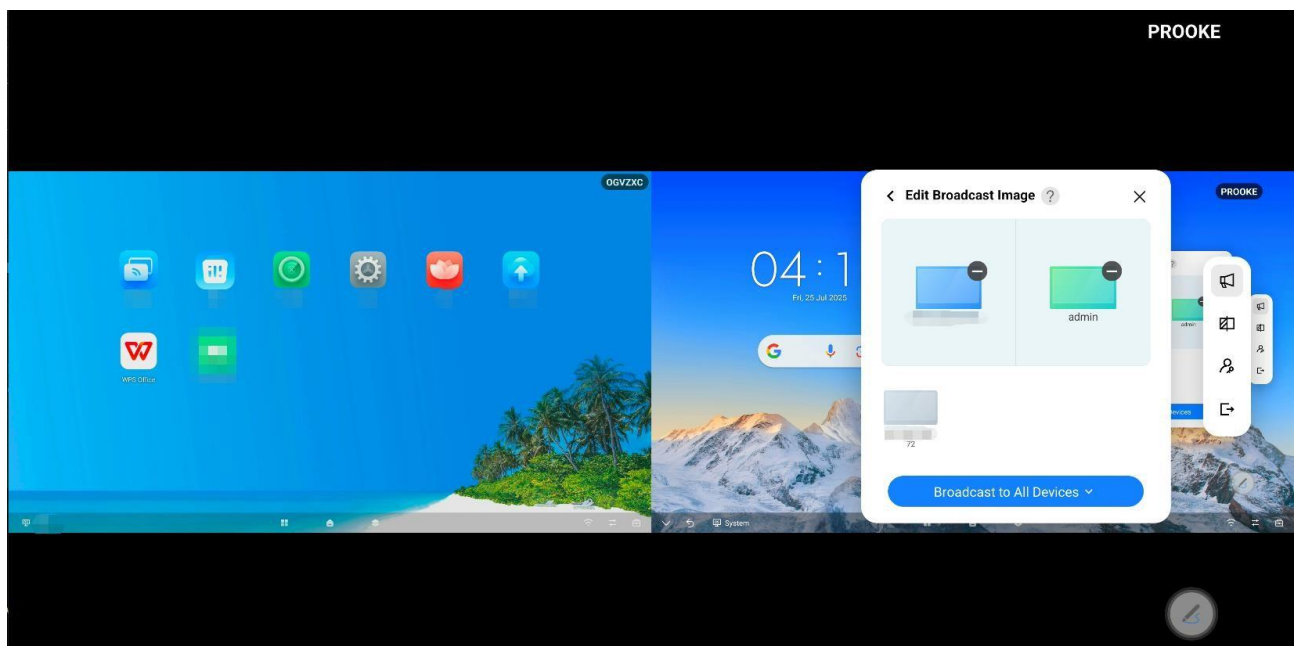


Figure 7-26 管理者デバイスでの画面呼び出し

画面を呼び出した後も、管理者デバイスから他のメンバーデバイスへ画像を配信することができます：

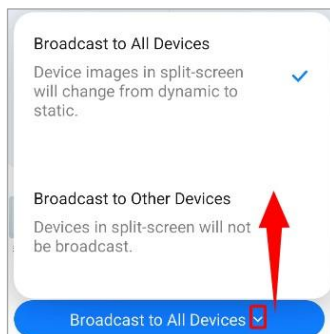


Figure 7-27 デバイスへのブロードキャスト

- すべてのデバイスへの配信：すべてのメンバーデバイスが管理者デバイスからの画像を表示できます。
- 他のデバイスへの配信：追加のメンバーデバイスには、管理者デバイスで呼び出されたデバイスを除き、管理者デバイスからの画像が表示されます。

7.5.2 Group Comparing

グループ比較モードでは、別の画面に最大4つの画像を表示できます。

手順

Step 1 「」をタップして、グループ比較ページに入ります。

Step 2 左側のリストからデバイスを選択し、最大 4 台のデバイスをドラッグして表示します。

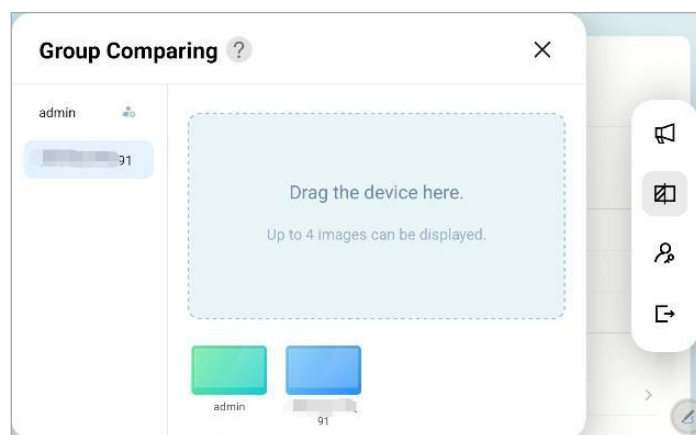


Figure 7-28 デバイスのドラッグ

Step 3 （オプション）別のデバイスを選択し、そのデバイスに表示する最大 4 台のデバイスをドラッグします。

左側のリストにあるどのデバイスでも、他のデバイスの画像を表示できます。

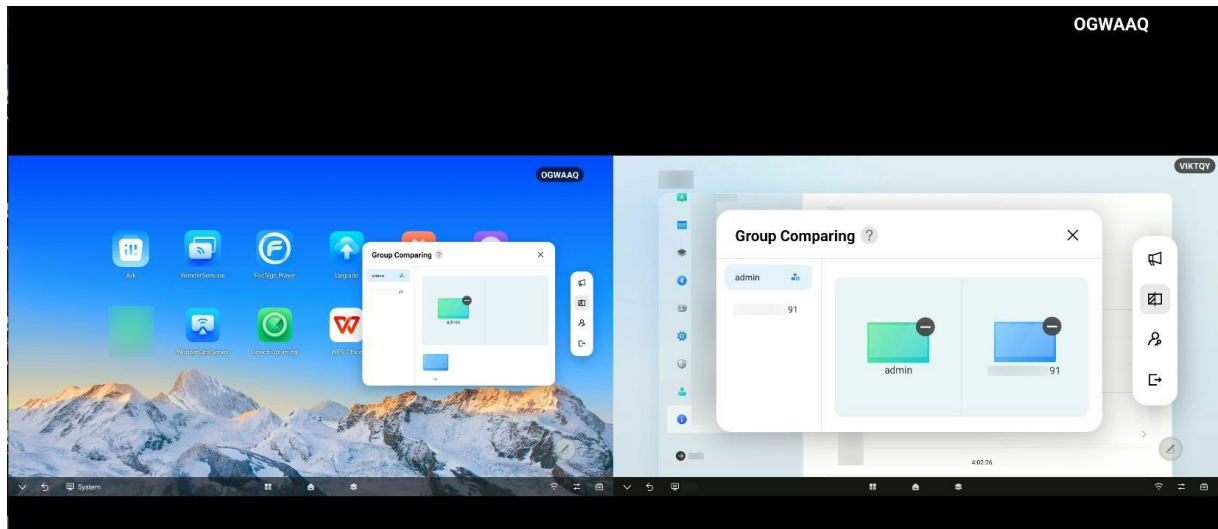


Figure 7-29 任意のデバイスを選択して、そのデバイスの画像を表示する

7.5.3 Permission Control

「」をタップして、権限管理ページを開きます。

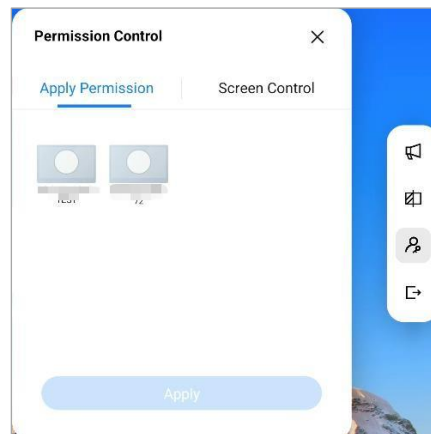


Figure 7-30 権限管理

- 権限の適用：任意のメンバーデバイスをタップし、**[適用]** をタップします。そのメンバーデバイスには一時的な管理者ステータスが付与され、管理者。
- 画面制御：「**画面制御**」をタップすると、管理者はメンバーデバイスの画面をすばやくオン/オフにできます。

7.5.4 Other Operations

終了

タップ  または  Exit メインページの左下隅をタップして、WonderSeminarを終了してください。

設定

メインページの左下隅にある「**設定**」をタップして、デバイスのグループ役割を変更します。

バージョン情報

メインページの左下隅にある「**バージョン情報**」をタップすると、ソフトウェアのバージョンやオープンソースソフトウェアのライセンスなどを確認できます。

7.6 システムプリインストールアプリ

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの概要を示しています。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントを参照してください。



Note

システムにプリインストールされているアプリは、デバイスの種類によって異なります。

Table 7-6 システムにプリインストールされているアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ホワイトボード	描画や書き込みに使用します。コンテンツの保存、移動、拡大、縮小、削除、ダウンロードが可能です。
ファイルブラウザ	ファイル管理
ブラウザ	ファイルブラウザデバイスがネットワークに接続されると、ブラウザを通じてインターネット上の情報を閲覧できます。
ギャラリー	SDカードやUSBメモリ内の画像を表示するために使用します。
アップグレード	リモートアップグレード、ローカルアップグレード、およびローカルコンポーネントのアップグレードを提供します。
WonderCastServer	フラットパネルディスプレイ、携帯電話、またはPCを接続して画面ミラーリングを行うためのアプリケーション。
WonderSeminar	グループデバイスの管理に使用されます。
Gemini	Google DeepMindが開発した高性能AIモデルで、マルチモーダル推論と高度な自然言語理解を目的としています。
Google Playストア	アプリ、ゲーム、書籍、映画、その他のエンターテインメントコンテンツを検索・ダウンロードするためのデバイス向けマーケットプレイスです。
Google Maps	世界中の地域や場所に関する詳細な情報を提供します。
Googleフォト	写真や動画のライブラリ全体を無料でバックアップできるサービスです。
Google ドライブ	オンラインでファイルをアップロード、同期、共有できるクラウドストレージサービスです。

Google TV	ストリーミングアプリ、ライブテレビ、パーソナライズされたおすすめ機能を、1つの統一されたユーザーインターフェースに統合したプラットフォームです。
Google Chrome	Googleが開発した無料のウェブブラウザで、インターネット上のウェブページにアクセスするために使用されます。
Gmail	Googleが提供する無料のサービスで、インターネットを介して電子メールの送受信を行うことができます。
Google	Googleが提供する検索エンジンです。
Google Meet	ビデオ会議サービスです。
YouTube	動画を共有するためのソーシャルメディアプラットフォームおよびウェブサイトです。
YouTube Music	Googleが提供する音楽ストリーミングサービスです。
Googleカレンダー	これは、Googleが開発した時間管理およびスケジュール管理ツールです。

第8章 付録A よくある質問

質問	原因と解決策
画面に結露が頻繁に発生するのはなぜですか？	保護のため、外側の画面には強化ガラスが取り付けられています。画面と強化ガラスの間には、空気対流のための隙間があります。主な原因は、画面と外部との間に温度差があることです。高温の空気が、温度の低いガラス表面で凝縮し、結露が発生します。結露はデバイスの起動後に蒸発するため、デバイスの使用には影響しません。
接続後にノートパソコンから音が出ないのはなぜですか？	オーディオケーブルのみを接続している場合、音声出力と映像出力の両方が利用できなくなります。 ● HDMIケーブルを接続してください。 ● Windowsで、そのデバイスをオーディオ出力デバイスとして選択してください。
しばらく使用すると画面が熱くなるのはなぜですか？	画面の温度上昇は放熱によるものであり、全く正常な現象です。当社の放熱設計は業界をリードするものであり、業界標準の策定者でもあります。また、国家の健康基準にも準拠しています。
長時間使用すると目に悪影響はありますか？	人間の目がフリッカーを認識できる周波数は50Hzです。周波数が50Hzを下回ると、フリッカーが認識され、眼筋の疲労を引き起こします。当社は60HzのLCD画面を採用しており、人間の目は画面のフリッカーを認識しません。同種他製品と比較して、目の疲れを大幅に軽減することができます。
画面に映像が表示されず、デバイスから音も出ないのはなぜですか？	● 電源ケーブルが接続されているか確認してください。 ● コンセントが正常に機能しているか確認してください。 ● 電源スイッチが入っているか確認してください。
なぜデバイスのHDMIチャンネルに入力信号がないのですか？	● 入力ソースが正常に動作しているか確認してください。 ● HDMIインターフェースまたはケーブルを交換してください。 ● PCにアクセスできる場合は、PCでHDMI出力を設定してください。
有線ネットワークが不安定なのはなぜですか？	ネットワークの自動検出オプションを無効にしてみてください。



遠くを見据え、さらに先へ

UD43713B-C